発 言 者	議 事
議 長	〔 3 月 7 日 〕
議 長	皆さん、おはようございます。（ 1 0 : 0 0 ）
議 長	ただいまの出席議員数は 1 0 名であり、定足数に達しておりますので、令和 5 年第 1 回厚沢部町議会定例会を開会します。
議 長	これより本日の会議を開きます。
議 長	日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。
議 長	会議録署名議員は、会議規則第 1 1 8 条の規定により、5 番山田克哉議員、7 番上戸昌行議員の 2 名を指名します。
議 長	日程第 2 諸般の報告、日程第 3 一般行政報告につきましては、別紙印刷して差し上げておりますので、朗読及び説明を省略します。
議 長	日程第 4 会期の決定について議題とします。
議 長	お諮りします。本定例会の会期並びに議会運営については、所管の議会運営委員会において協議されておりますので、委員長から報告を求めることにしたいと思っております。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議 長	異議なしと認めます。
議 長	委員長の報告を求めます。
議 長	中山委員長
議会運営委員長	議会運営委員会委員長報告を申し上げます。

<p>議 長</p>	<p>去る3月1日午前9時、議会運営委員会を開催しました。</p> <p>本日をもって招集されました令和5年第1回厚沢部町議会定例会の議会運営につきましては、議事日程によることとし、会期については、本日から3月10日までの4日間とすることに決定しましたので、報告いたします。</p> <p>令和5年度予算案につきましては、議長を除く議員全員による特別委員会を設置して審議することにしました。</p> <p>特別委員会の正副委員長の選出方法については指名推選とし、議長において指名することにしました。</p> <p>各会計の新年度予算の質疑について、一般会計予算については歳入歳出とも款ごとに、各特別会計については歳入歳出ごとに質疑することを決定しましたので、皆様どうぞ御了承願いたいと思います。</p> <p>次に、一般質問につきましては、2人の通告がありました。</p> <p>提出案件の審議については、質問者、答弁者とも簡潔明瞭な質疑、答弁に心がけ、円滑な議会運営が行われますよう御協力をお願いいたします。</p> <p>なお、従来どおり、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、議会出席者にはマスクを着用していただき、おおむね1時間程度ごとに休憩を取り、換気をしたいと思います。改めて皆様の御理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>以上、委員長報告といたします。</p> <p>お諮りします。本定例会の議会運営につきましては、委員長報告のとおりとし、会期は本日から3月10日までの4日間をしたいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あ</p>
------------	---

議 議	長 長	り) 異議なしと認めます。したがって、会期は本日から3月10日までの4日間と決定しました。
		提出案件は、議案第1号令和5年度厚沢部町一般会計予算から議案第14号令和4年度厚沢部町国民健康保険病院事業特別会計補正予算の予算案14件、条例の制定及び一部改正案9件、指定管理者の指定3件、発議1件、報告2件の計29件であります。
議 議 町	長 長 長	町長から提案理由の説明について発言を求められておりますので、これを許します。 町長 令和5年第1回厚沢部町議会定例会の開会に当たり、一言御挨拶と提案理由を申し上げます。
		最初に、私の任期も残すところ1か月余りとなりました。私は、平成19年から4期16年にわたり町長の重責を担わせていただきました。議員の皆様方には、時には厳しい御指導もいただきながら町政を進めてこられたことを、心から感謝とお礼を申し上げます。 現在、地方を取り巻く環境は非常に厳しく、国難とも言うべき少子高齢化に端を発した人口減少など、多くの課題が山積しております。しかし、行政と議会が町民皆様の思いを受け止めて、議論を深め、まちづくりを進めれば、必ずこの困難を乗り越えられると確信をしております。地方の活性化なくして国の繁栄はありません。これからも、行政、議会、そして町民が一体となりまちづくりを進め、小さくても「キラリ」と光るまち「あっさぶ」が発展することを願い、感謝とお礼の言葉とさせていただきます。 さて、去る1月23日、第211回通常国会が開会し、岸田首相は施政方針演説で従来とは次元の異なる少子化対策を実現したいと、こう訴えました。昨年の出生率が80万人を割り込むとの見通しから社会機能を維持できるかどうかの瀬戸際と位置づけて、子供や子育て政策は待った

なしの先送りの許されない課題として、出生率の反転上昇を目指す考えを示しました。

また、首相が掲げる新しい資本主義では、好循環の鍵を握るのが物価上昇を上回る賃上げを強調し、持続的に賃金が上がる仕組みづくりを進めることを表明しました。

さらに、新型コロナウイルス関係では、5月にも感染症法上の分類を5類に引き下げ、今月13日からマスクの着用を屋内屋外を問わず個人の判断に委ねる方針が決定されました。およそ3年以上に及ぶコロナ禍にあって、いよいよ本格的な社会経済活動が再始動する令和5年となることを期待しているところでもあります。

さて、5年ごとの国勢調査を基準に国立社会保障・人口問題研究所、いわゆる社人研では、このほど北海道の人口の将来推計を発表しました。道内の人口は2015年から2045年にかけて25.6パーセント減少し、約400万人台となることが公表され、日本全体の減少率が16.3パーセントであり、全国平均よりも早いペースで人口減少が進むとされております。社人研の分析では、将来的にも札幌一極集中の状況は変わらず、人口減少を前提としたまちづくりを進め、長い時間をかけて出生率を回復させていく取組が求められるとしています。

今後は、本町においても長い目で見た子ども・子育て支援の取組が必要と考えております。

さて、令和5年度の国の当初予算案は、高齢化による社会保障費や防衛力の抜本的な強化を目的とした防衛費の増加などにより、前年度当初比6.3パーセント増の114兆3,812億円と過去最大の予算規模となりました。

歳入では、税収を8.0パーセント増の69兆4,400億円と過去最高を見込むほか、新規国債の発行額は3.5パーセント減の35兆6,230億円となりました。

一方、歳出では、主要経費が72兆7,317億円で、そのうち社会保障費では1.7パーセ

ント増の36兆8,889億円、公共事業費では60兆600億円となっております。

地方財政対策では、昨年対比1.6パーセント増の92兆400億円を見込み、本町の一般財源の過半を占める地方交付税については、出口ベースで1.7パーセント増の18兆3,611億円となりました。

次に、北海道の新年度予算は、統一地方選挙を4月に控え政策的経費を除く骨格予算であり、前年対比11.6パーセント減の2兆8,507億円となっておりますが、鈴木北海道知事は骨格予算であっても、ゼロカーボン北海道の関連事業費に約140億円を計上し、企業や道民を巻き込んで脱炭素を進める強い考え方を示しました。

次に、本町の新年度予算について申し上げます。

本町におきましても統一地方選挙の年であり、原則として事務執行上必要な義務的経費と国及び道の継続認定されている事業等を中心とした骨格予算を編成しました。

そのため、一般会計と6特別会計を合わせた総予算額は65億4,627万8,000円となり、前年度当初予算と比較して3億5,295万8,000円、5.1パーセントの減額となっております。

次に、本定例会に提案いたします案件は、新年度予算案7件、補正予算案7件、条例案3件、条例の改正案6件、指定管理者の指定案3件の計26件であります。

議案第1号の令和5年度厚沢部町一般会計予算につきましても、予算総額が42億9,500万円で、前年度当初対比では9,500万円、2.2パーセントの減少であります。なお、これに道営事業費と前年度の繰越明許事業費を加えた実質予算額は44億4,744万6,000円となります。

歳出の性質別内訳の主なる増減は、増額は、物件費ではエネルギー高騰に伴う各施設の光熱水費、人件費で人事院勧告と退職者の補充等に約4,900万円の増となっております。

減額は、公債費で2,635万1,000円、普通建設事業費で2,538万円、繰出金で2,423万円ほど減となっております。

目的別では、増額は、総務費では、保育園留学に係る創生事業で5,600万円、土木費では、橋梁補修工事費等で3,600万円ほどとなっております。教育費では、地域スポーツクラブ活動体制整備事業で145万円の増となっております。

減額は、衛生費では、簡易水道事業特別会計繰出金、商工費では、歴史文化情報発信映像制作委託料、消防費では、厚沢部消防署の屋上防水改修工事費の減であります。大型事業の完了や政策的経費の未計上が主な要因であります。

歳入については、町税ではほぼ令和4年度実績並みを見込み、前年度当初対比1.7パーセント増額の3億9,917万2,000円、地方交付税は、前年度当初対比2.9パーセント増額の23億3,400万円を計上しております。国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減額、道路メンテナンス事業費の増額で、道支出金は、農地耕作条件改善事業費補助金の減額となっております。

議案第2号の令和5年度厚沢部町国民健康保険事業特別会計予算につきましては、保険給付費及び納付金などの減額を見込み、前年度当初対比4,588万8,000円、8.2パーセント減の5億1,254万1,000円を計上いたしました。

議案第3号の令和5年度厚沢部町後期高齢者医療特別会計予算につきましては、納付金の増額を見込み、前年度当初対比583万2,000円、8.0パーセント増の7,913万4,00

0円を計上いたしました。

議案第4号の令和5年度厚沢部町介護保険事業特別会計予算につきましては、保険事業勘定とサービス事業勘定を合わせた予算総額を6億8,774万4,000円とし、保険給付費の減額を見込み、前年度当初対比1,015万1,000円、1.5パーセント減を計上いたしました。

議案第5号の令和5年度厚沢部町簡易水道事業特別会計予算につきましては、簡易水道施設整備事業費の減額を見込み、前年度当初対比1億5,848万7,000円、35.8パーセント減の2億8,434万9,000円を計上いたしました。

議案第6号の令和5年度厚沢部町農業集落排水事業特別会計予算につきましては、集落排水施設の光熱水費の増額を見込み、前年度当初対比451万7,000円、3.4パーセント増の1億3,624万2,000円を計上いたしました。

議案第7号の国民健康保険病院事業特別会計予算につきましては、収益的収支と資本的収支を合わせた予算の総額は5億5,126万8,000円で、前年度当初対比5,378万1,000円、8.9パーセントの減額を見込みました。主な要因は、スプリンクラー整備工事費の減額であります。

議案第8号の令和4年度厚沢部町一般会計補正予算につきましては、1億5,008万5,000円を追加し、予算の総額を51億9,820万9,000円とするものであります。事務事業の確定と、今後の所要見込額を勘案し、各項目の増減調整を図っております。

増額の主なるものは、総務費では財政調整基金積立金、衛生費では国保病院会計繰出金、農林水産業費は担い手確保・経営強化支援事業費の補助金及び肥料価格高騰対策事業費の繰越明許費

であります。

議案第9号から議案第14号までの令和4年度各特別会計補正予算につきましては、それぞれの今後の収支見込みを勘案し、増減調整を図っております。

議案第15号の厚沢部町個人情報保護法施行条例の制定について及び議案第16号の厚沢部町情報審査会条例等の一部を改正する条例の制定につきましては、これまでの個人情報保護制度は、個人情報を取り扱う主体ごとに適用される法令や所管が異なっておりましたが、令和5年4月1日から施行される法律に一元化されることに伴い、新規の条例制定と関係条例の一部改正を行うものであります。

議案第17号の厚沢部町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、議案第18号の厚沢部町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきまして並びに議案第19号の厚沢部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定につきましては、学校児童福祉施設等におけるバス送迎安全管理の徹底及び感染症・食中毒等まん延防止のための基準となる関係府省令等の改正に伴い、関係条例の一部改正を行うものであります。

議案第20号の厚沢部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定につきましては、出産育児一時金が増額改定されることに伴い、当該条例の一部改正を行うものであります。

議案第21号のうずら温泉宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、宿泊料の改定のため当該条例の一部改正を行うものであります。

議案第22号の厚沢部町教育委員会指導主事の給与に関する条例の制定につきましては、当町

<p>議 議 議 議 佐々木議員</p>	<p>教育委員会に新たに指導主事を配置するため、当該条例を制定するものであります。</p> <p>議案第23号の厚沢部町公営塾の設置及び管理に関する条例の制定につきましては、公営塾の新設に伴い、新たに条例を制定するものであります。</p> <p>議案第24号の厚沢部町移住体験施設、議案第25号のうずら温泉宿泊施設及び議案第26号の厚沢部町まちなか交流センターの指定管理者の指定について、議会の議決を求めるものであります。</p> <p>以上が、本定例会に提案いたしました議案の概要であります。詳細につきましては、関係課長に説明に当たらせてますので、御審議の上、御賛同賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。</p> <p>日程第5 一般質問の通告がありましたので、発言を許可します。</p> <p>発言の順序は、受付順とします。</p> <p>それでは、初めに、10番、佐々木宏議員</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>令和5年第1回定例会一般質問に先立ちまして、先般、議会開催に先立ちまして、全国議長会より栄えある表彰をいただきました。私といたしましては身に余る光栄であり、感謝申し上げる次第であります。新たに議員としての責務の重さを再認識しまして、議会活動に邁進するという決意をしたところであります。</p> <p>それでは、一般質問の前段に入ります。</p> <p>世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症の発生より3年が経過しました。国内感染者数につきましては3,380万人で、今現在、感染はひと段落状態であります。一方で、発生</p>
--------------------------------------	---

<p>議 町</p>	<p>から1か月、トルコ・シリア大地震5万人以上の死者数です。心からの御冥福と早期の回復をお祈り申し上げる次第であります。片や、ロシアがウクライナ侵攻し1年が経過するも、戦争収束のめどが見通せない世界の実情となっております。</p> <p>それでは、質問項目です。</p> <p>投票率向上の手だてをと題しまして質問いたします。</p> <p>道民、町民の意思表示を政治に反映させる第20回統一地方選挙が差し迫っています。本町の町民の約4割が65歳以上で、足が不自由な高齢者や運転免許証を返納するなど移動が困難な高齢者対応と人口減少によって投票所の廃止の山間部などの、誰もが4月の投票日に向けて貴重な一票を行使しやすい投票率の向上に結びつける方策が必要と考えるところです。町長の所見を伺うものです。</p> <p>質問項目につきましては、4点でございます。</p> <p>投票率の実情ということで、国・道選挙、そして町長・町議選挙の実態についてであります。</p> <p>2つ目に、期日前投票所の実情はどういった割合になっていきますかという点。</p> <p>3点目に、不在者投票所の設置増設が必要と考えるところですけれども、いかがでしょうか。</p> <p>4点目に、移動式の期日前投票所の開設ということで、これは大変高齢者が多いということで必要でないかという点であります。</p> <p>以上、よろしく御回答お願いいたします。</p> <p>町長</p> <p>今、佐々木議員からの一般質問内容につきましては、それぞれ独立しております選挙管理委員会の内容でございますので、これらの質問の項目ごとに選管書記長のほうから説明を申し上げます。</p>
------------	--

議 長
総務財政課長

す。

総務財政課長

まず、佐々木議員の投票率の向上に向けた取組についての御質問であります。

1点目の過去3回の投票率の実態はということですが、国政選挙では、別に資料で配付してあるとおり、衆議院議員総選挙及び参議院議員通常選挙ではそれぞれ60パーセント台後半から70パーセント台、知事及び道議会議員選挙では70パーセント台から80パーセント台、町長・町議会議員選挙では90パーセント台の投票率となっております。

2点目の期日前投票の実情はということですが、期日前投票の制度の開始につきましては、平成15年12月に制度が開始されまして、それまでは不在者投票だけの投票だったんですけれども、手続が大幅に簡素化され、投票当日の投票所と同じ、選挙当日の投票所とほぼ同じ形式での投票が可能となったことから、直近の選挙では、投票した方の4割以上が期日前投票を行っているという実情でございます。

次に、3点目の不在者投票所の増設についてでございます。

現在、町役場以外では、町の国民健康保険病院、そして特別養護老人ホームが不在者投票所として指定を受けているところであります。指定につきましては、施設側からの要請を受けまして、指定は北海道選挙管理委員会が指定することとなっております。

なお、指定の要件につきましては、おおむね50人以上収容可能な施設の規模となっております。現在その2つの指定されている施設以外の介護施設関係の施設では、50人以上の人数の要件を満たす施設はありません。

4点目の移動式の期日前投票所の開設についてでございます。

投票の確認作業等を行うため、期日前投票専用の、期日前投票所を何か所かに設けるとなると専用のシステムを構築しなければならないということになります。さらに、システムを構築したにしても、今後国の方針で令和7年度をめどに、現行の選挙システム等については各自治体が標準的な仕様で運用できるように今まさに検討が進められている最中でありまして、仮に現在システムを整備しましても、また、その令和7年度以降のシステムの標準化というところを境に再度システムを改修しなければならないですとか、また、新たにつくらなければならないということが予想される場所があります。移動式の期日前投票所の開設は、こういったシステムの標準化が決まって構築され次第、検討していきたいと考えている場所があります。

以上です。

10番、佐々木議員

御回答ありがとうございます。

3点目の不在者投票という点でございます。道選管の50人の人数要件でできないということでございますけれども、これについては北海道選挙管理委員会のほうに指定要件緩和といったことで、ぜひとも申入れをしていただきたいということを申し添えます。

と言いますのは、現在の町内の実情というか、全道的にもそうなんですけれども、乖離する部分が多く見られます。1つには、老健や介護施設が従前よりも相当多くなっているというのが1つです。それと、我がほうにも介護施設があるんですけれども、実際施設長に伺いましたら、投票所が300メートルまで離れてないんですけれども、どういう実態でしょうかね、投票、全員が行くというようなことにはならないという回答でした。やはりちょっと高齢的な部分もありますし体も不自由な部分もあるということで、限られた人数しか投票所に行っていないというのが実

議長
佐々木議員

<p>議 長 総務財政課長</p>	<p>態でございます。</p> <p>そのような点で、ぜひとも道選管のほうに申入れをしていただきたいという部分であります。どうですか、その辺、申入れ、御回答をお願いします。</p> <p>総務財政課長</p> <p>先ほど人数の要件で50人ということで申し上げましたけれども、おおむね50人ということでございます。必ずしも50人いなければ指定がされないかという、そういうわけではないわけでございます。</p> <p>ただ、こちらが指定してくださいというよりは、施設側からの要請に応じてこちらも道選管と取り合ったり、こういった施設でやりたいということを行っているということをお願いして、ただ、施設側にしてもただ投票ができるというわけではありませんで、当然投票管理者、投票立会人、これが必要になります。その辺の投票する体制が整えられるかどうかというところもありますし、その辺は、もしやりたいという施設があるのであれば、こちらも50人めどにもうすばつと切るわけではなくて十分相談に応じる用意はありますので、もし要望があるのであれば、そういった相談には十分乗っていきたいと考えております。</p>
<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>10番、佐々木議員</p> <p>4点目の移動式はという部分については、令和7年度の部分もございまして検討事項だということでございます。現実的に期日前投票という部分については、昨年度の参議院選挙等の状況を見ますと46.4パーセントということで、ほぼ2人に1人の方が実施しているという実態であります。こういった部分でその重要性というのが大分浸透しているなというふうに思うところですが、移動手段を支援する制度が必要でないかといった部分で、当町でも社会福祉協議会</p>

<p>議 長 総務財政課長</p>	<p>等が13事業で移送サービス、外出支援サービス等を行っていますけれども、これについては利用が可能な部分なんでしょうか。</p> <p>総務財政課長</p>
<p>議 長 保健福祉課長補佐</p>	<p>正直私では、期日前投票が社会福祉協議会で行っている移送サービスで使えるかどうかというのは分かりかねますので、ちょっとその答えにつきましては、ちょっと控えさせていただきたいと思います。</p>
<p>議 長 保健福祉課長補佐</p>	<p>保健福祉課長補佐</p> <p>社会福祉協議会のほうの高齢者生活支援事業というので外出支援サービスがありますので、そのサービスを使って期日前投票を利用してもらえるとということで私たちも社協さんのほうとかでお話をして、大丈夫です。</p>
<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>10番、佐々木議員</p> <p>じゃ、できるということでよろしいんですね。</p> <p>それと、できるということであれば、ぜひとも活用する方もおられるんでないかということで、その辺の部分も周知等についてお願いしたいということと、投票日当日に関してです。これについては、文化祭等で実施しております運行バスを走らせるといったような、そういった手では、これはできないものなんでしょうか。</p>
<p>議 長 総務財政課長</p>	<p>総務財政課長</p> <p>いろいろ檜山管内の実情、投票所の数等を見て今回調べたところでございます。厚沢部町は比較的投票所の数、選挙人に比べて多い町でございます。まず、今金町さんでいくと、人口規模が多いのに投票所の数が6つしかないですとか、今金町さんは何かバスでの送迎ということもや</p>

<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>られているようでございます。</p> <p>ただ、実情どんどん高齢化というのは進んでいくと思っておりますし、そういったことも、投票率、今は高い状況で非常に推移しているわけではあるんですけども、今後年齢構成等を見ながらそういったことは検討していかなければならないと考えているところではあります。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>前回の令和4年7月10日の参議院選挙の投票結果ということを見ると、私なりの分析したんですけども、やっぱり投票所が廃止された区域の投票率が低い傾向が読み取れたんです、私の判断ですけども。ということを見ると、やはりきちっとそうした対策が必要であろうということで、100点の方法としては、やっぱり移動式の期日前投票所の開設という部分が理想だろうというふうに考えるところです。</p> <p>そのようなことで、さらなる投票率向上に結びつける方策が必要であるというようなことを提言いたしまして、私の質問を終わります。</p>
<p>議 長 議 長 議 長 山崎議員</p>	<p>それでは、一般質問の途中ではありますが、10時50分まで休憩をいたします。(10:35)</p> <p>それでは、一般質問を続行いたします。(10:50)</p> <p>次に、2番、山崎孝議員</p> <p>2番、山崎議員</p> <p>議長の許可をいただきましたので、2点について質問をいたします。</p> <p>渋田町長は、このたびの町長選挙には出馬しないと表明をされました。しかし、私は、渋田町長の今まで頑張ってきたこの活動を見てみますと、渋田町長には生涯現役を通してほしい</p>

と、そういう願いを私は持っているところであります。

そういうことで、本来ならば、今日今期の最後の質問ということなので自粛して質問しないほうがいいという実は声もあったんですが、私はあえて、最後のはなむけとして町長に質問したいというふうに思っておりますので、よろしく御指導願いたいというふうに思います。

さて、日増しに暖かくなりまして、春を感じる頃になってまいりました。しかし、去年は6月、8月の豪雨の影響によりまして、農家の方々は農作物に大変な大きな被害が発生をしたわけです。今年は、願わくば天候の変動、自然災害もなく、豊穰の1年であってほしいというふうに願っているところでもあります。

それでは、質問に入ります。

まず、質問の1点目ではありますが、人口減少対策、人口減少禍での行政サービスの在り方についてであります。

人口減少は、自治体存亡の危機であります。本町の人口の推移は、昭和35年に1万651人をピークにしまして減少を続け、いまだに歯止めがかかっていません。令和4年末の人口の推移は3,500人であり、この62年間で7,151人の人口の減少であります。1年平均で見ますと、115人の人口減少の実態であります。

日本は、出生率の低下などの要因によりまして国全体が人口減少社会に進行していることと思慮しているところであります。人口減少により、2040年には全国自治体の約半分の存続が難しくなる、このような地方消滅論が提起されているところでもあります。

また、人口減少によって利用度の低下、サービスの弱体化などによりまして、行政コストに変化が出てくると考えております。本町の将来方向、展望を思慮されますが、人口減少、低出生率

<p>議 町</p> <p>長 長</p>	<p>を受け入れた地域創生を創造すべきだと私は考えているところでありますので、町長の御指導と所見を伺いたいと思います。</p> <p>町長</p> <p>今、山崎議員から、人口減少対策、人口減少禍での行政サービスの在り方と、こういうふうな大変大きなテーマの一般質問であります。</p> <p>私は、今、山崎議員が言われたように、このたびの町長選挙には出馬をしないということを表明させていただいたところであります。今後の厚沢部町の人口減少対策については言及することは差し控えたい、このようにも思いますし、一般論として申し上げておきたいと、こういうふうに思います。</p> <p>人口減少問題は、まちの将来を左右する最重要課題でもあります。そのとおりであります。日本全体で人口減少が進んでおりまして、その流れを止めることは容易ではありませんけれども、減少の加速化を食い止めることが重要であると、このように思います。</p> <p>岸田総理は、少子対策として子ども関連予算の倍増方針を打ち出して、6月には具体的な施策や財源などを示すということでもありますので、その方針について十分注視していく必要があると思っております。</p> <p>人口の減少によって地方行財政にも大きな影響が出てきますし、自主財源となる税収の減少や高齢化による社会保障費の増加など、行政サービスの見直しが予想されるところであります。</p> <p>国の基本理念にもあるとおり、日常生活の基盤となる行政サービスについては、需要と供給を長期的に見直しながら、住民負担の程度を考慮し、住民の理解と協力を得ながら将来にわたって持続可能なサービスの提供を維持していかなければならない、必要なサービスは維持しながらも</p>
-------------------------------	---

<p>議 長 山 崎 議 員</p>	<p>改革するものは改革して、限られた財源を有効に賢く使うと、こういう施策に取り組む必要があるわけでありませう。</p> <p>人口減少対策は、結婚、出産、子育て、教育、定住・交流、関係人口の確保、雇用の創出、住環境、医療・福祉の充実など多岐にわたっておりまして、ソフト面を含めて地道な努力の積み重ねが成果につながるものと、このようにも考えております。</p> <p>今後については、人口の流入を図るための自治体間のサービスの競争が展開されている中で、農林業などの経済基盤を維持し、雇用機会の創出や教育、結婚、子どもを産みやすい環境づくりなど魅力あるまちづくりを目指して、過疎対策として成長に結びつくことが期待される行政サービスについて、財政状況を勘案し、他町に先駆けて実施していくことが重要であると、このようにも思っているところであります。</p>
	<p>2 番、山崎議員</p> <p>今町長の答弁の中にもありましたように、この人口対策というのは本町にとりましても最重要課題であるというふうに私は思っております。だから、私、前段言いましたように、本当に人口減少というのは、町なり、国なり、自治体存亡、浮かぶか下がるか、その存亡の危機の状態だというふうに私は思っております。今、町長の答弁の中にありましたように、具体的にはこの人口対策は、結婚、出産、子育て、教育、定住、いろんなことが総合的に解決されなければならないというふうに思っています。</p> <p>そこで、具体的にお聞きしますけれども、厚沢部町の出産状況はどのように推移しておられるか、御指導願えればと思います。</p> <p>住民税務課長</p>

<p>住民税務課長</p>	<p>出産数ですが、戸籍の出生届の数を基に算出した結果なんですけれども、平成元年52件、平成2年39件、平成3年38件と大体40件前後で推移して、平成4年から20件、大体20件弱、平成15年からまた30件前後と増えてきているんですけれども、この令和元年度から17件、20件を割っているという数です。令和4年では、12月6日現在では7件となっております。平成4年から14年までは定住促進奨励金の支給の数でありまして、2人目以降の出産の数が20件から30件ということで推移しております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議長 山崎議員</p>	<p>2番、山崎議員</p> <p>私もいろいろ勉強させていただいたんですが、今課長のほうから御指導ありましたように、令和4年は出産された方が7人ということで私は聞いているんですよ。それと、平成元年とかというのはかなり前の話なんですけれども、近々の状況を見ると、もう14、5件でしょう、令和入ってからは。そういうような形で、これから厚沢部町の町の将来展望を見るとき、7人、8人、10人ぐらいの出産率、出産される子どもさん方であれば、どういう展望を見たらいいんですかね。これだったら、もう極端に人口が減っていくと私は思っていますよ。特別そうでないと、どこかに移住促進されるとか、何らかの大きなことをやらない限りは、もうどんどん減少していくと思います。</p> <p>そして、私の持論でありますけれども、私が一つ言うのは、まちにとっての大きな資源になると思っっているんですよ。だから、人がいなくなると、産業がまず衰退します。そういうことで大きな変化が出ると思うんですよ。</p> <p>それとともに、町長のこの答弁の中にもありましたように、まず予算が大きく変化するだろう</p>

と思っています。そうすることによって、大がかりに行政サービスを見直していかないと、私は町の財政もたないんでないかと、そういう危惧もしているところでもあるんですよ。

ですから、これは議論するとなれば、本当にこれ大変な項目、全部これ一つ一つやると大変なことになりますので、そういうことで、あえて出生率が低くなったということだけは警鐘を鳴らしながら、私は今日、町長あるいは新町長にいろいろな話を言ってもしょうがないので、逆にこの辺でやめますけれども、一応そういう状況下にあるということだけ危機感を持ちながら、これは町長だけでなく、課長だけでなく、厚沢部町全体の大きな課題として取り組んでいくという姿勢をつくっていかないと、この人口減少対策は私は解決されないだろうと思っています。されない限りは、将来は厚沢部町のまちは近い将来どうなるんでしょうか。もう言うまでもなく、大変な状況になるだろうと私は感じるところで、そういうことで、この1問目の人口減少対策は、本来であればもっともっと時間かけて、町長からもっともっといろんな角度で御指導願いたいというふうに思っておりますけれども、今日はあんまりくどく申し上げること控えますので、これで第1問目を終了したいと思います。

ただ、私が今言ったことに対し十二分なこれから議論を深めて御指導いただければというふうに思っておりますので、お願いをして、2問目に入りたいと思います。

2問目ではありますが、健康診断実施状況、対応策としての行政指導の在り方についてであります。

函館道南がん対策応援フォーラムによりますと、函館道南がんの現況が報道されました。北海道においてのがんの罹患率においては、これ2018年とちょっと古い話ではありますが、南檜山が北海道の中で男性が上のほうから2番目、女性が上のほうから7番目の結果というふうにして

議
町

長
長

高い罹患率であるということが報告をされております。

がん治療においては、早期発見、早期治療が何よりも大切であり、定期的に検診を受けることが大事であると言われております。

しかし、誠に残念であります。本町民の健診実態については、行政報告書によりますと基本健康診断受診率は決して高くありません。町民の命と健康を守るためにも、受診率を高めなければならぬと考えているところであります。

健診の実態についての認識について、それと併せて行政指導について、町長の所見を伺います。

町長

今、山崎議員から行政報告書の健診受診状況、これ今話が出たわけです。この受診者数は、町が実施している春・秋の総合健診、それから農協がやっている巡回ドック、こういうものの健診などいろいろあるわけでありまして。健診受診者のほとんどは、国民健康保険、後期高齢者医療制度に加入されている方々で、共済組合あるいは健保組合、協会けんぽ加入者等の受診者数は町としては、これらの健保関係は町が把握することができない、こういう状況にあります。

しかし、健診対象者は町民全体としているために、受診率はこの行政報告の中では非常に低くなっております。

主な健診の内容として、年2回の総合健診とJAの巡回ドックの3回の集団健診の機会を設けておりまして、特定検診、胃がん検診、肺がん検診などを同日に実施することで、受診者の負担が軽減されるよう設定しております。したがって、検診の数は集中してやっているという、こういうふうな進めでありまして。

住民への周知については、年度初めに1年間の健診予定表を各戸配付をしながら、健診前に再度受診奨励のチラシの配付、保健推進員からの地区住民への勧奨、未受診者には受診勧奨のはがきの送付、電話での勧奨も行っており、ここ数年は未受診者の傾向に合わせた受診勧奨のはがきの送付もしているところでもあります。

また、国保病院において個別に受診できるよう体制も整えているところでもあります。

ここ数年の受診者の減少要因としては、コロナウイルス感染拡大防止のために急遽受診時期や回数の変更を余儀なくされること、住民の方々の受診控えなどがあつたのではないかというふうに考えられます。

現状では、コロナウイルス感染者数も減少傾向となっておりますことから、今後も皆様が受診しやすい体制づくりを進めていくとともに、受診率向上に向け保健所と協力しながら、職域との連携、小・中学生の健康教育などを進めていくことが大事であると、こういうふうに考えているところでもあります。

2番、山崎議員

実は、これは議員の方々には全員印刷してお渡しして見てもらっていますが、皆さんのほうにはないと。これ、北海道新聞のほうでこういう結果を発表されたんですよね。これ見ますと、やっぱり道南函館、このフォーラムの数値があるんですが、これで調べたデータ、がんの言及ということで、その中で先ほど言いましたように、北海道の中で南檜山だから、厚沢部町ということではなく南檜山ということなんです、大変上から男性は2番目ということで高い罹患率だという、そういうことなんですよね。女性は7番目というようなことが出て、発表になったものですから、私は本当にびっくりをしたところでもあります。

議長
山崎議員

そういうことで、しからは厚沢部町どうなんだということ。今言いましたように、厚沢部町はいろんな補助をしながら、いろんながんの予防ということで検診を進めてきたりしていますけれども、決して高くないんです、8パーセント台でしょう、ほとんど。報告書によりますと、ほとんどそういう状態なんですよね。

ですから、やっぱり私も言いましたように、がんは早期に発見して治療することによって完全に治るわけですから、今。だから、それが遅れることによって重病になるわけですよ。ですから、私は町民の健康、命を守るためにも、ぜひこの検診をもっともっと受診率を高めていかなければならないというふうに思っています。そういうことで、あえてこういう新聞に出た、こういうニュースが流れましたので、あえてこれ取り上げてみたわけであります。

そういうことで、これからは職員方、それから町長併せて、とにかく検診を高めるようにいろんな角度から指導を強化してもらえればというふうに思っております。

課長、住民課長ですか、何か健診率の関係で何か御発言ありましたらお伺いしたいと思います。

保健福祉課長補佐

山崎議員からの御指摘もあったんですけれども、町長からも返答ありましたとおり、行政報告書の中には共済組合とか健保組合の方たちが入っていない受診率なんですよね。それで、参考の値なんですけれども、国保加入者だけの方たちの受診率なんですけれども、これは令和2年度の国の報告なんですけれども、胃がんで23.5%です。肺がんは10.9%、大腸がん22.2%と、国保加入者だけであると、この行政報告書よりは少し高くなるんですけれども、私たちとしては国保加入者とか後期高齢者だけではなくて町民全体を対象者として考えたいので、どう

議 長
保健福祉課長補佐

<p>議 山 崎 議 員</p>	<p>してもこういう低い受診率にはなってしまうんですけども、ほかの保険に加入されている方たちにもがん検診を受けてもらいたいという思いで、私たちはこれからも進めていきたいと思っています。</p> <p>以上です。</p> <p>2 番、山崎議員</p> <p>令和 5 年度の予算審議の中にもまたこの補助というような形で予算が計上されておりますけれども、それはまたそのときに議論したいと思います。</p> <p>あと、問題は、やっぱり町民にいかにして理解を深めるかということだろうと私は思っているんですよ。やっぱりがんというものに対する早期発見、早期治療というのは、一番やっぱり対策としては貴重だよということが言われていますので、ぜひそういうような形で町民の命と健康を守っていただければと思っています。</p> <p>そういうことで、再度いろんな角度から受診率を高める最大のアナウンス効果といたしましょかね、そういうようなことを手を尽くしながら指導願えればと思って、それを申し上げまして、一応私の質問を終わりにしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>議 議 議 議 議 議</p>	<p>長 長 長 長 長 長</p> <p>一般質問の通告は以上であります。</p> <p>これをもって一般質問を終結いたします。</p> <p>これより議事に入ります。</p> <p>日程第 6 議案第 8 号令和 4 年度厚沢部町一般会計補正予算、議題とします。</p> <p>議案の説明を求めます。</p> <p>総務財政課長</p>

総務財政課長	議案第8号の令和4年度厚沢部町一般会計補正予算（第9号）の内容について説明いたします。
議	（議案内容説明記載省略）
長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	最初に、歳入全般について質疑はありませんか。ページ数は10ページから41ページまでです。
長	なお、歳入の質疑は、ページ数が10ページから41ページまで一括でありますので、複数の質疑のある方はそれぞれのページを一度に質問を、何回かに分けないで一度に質問をしていただきたいと思います。お一人につき、歳入全般についての質疑はお一人3回までです。
議	7番、上戸議員
上	3回の質問ということで、まず、16ページの地方消費税の交付金で800万円ほど増額になっていますけれども、これは一時的に増額になったのかどうかということと、その次は、19ページになりますけれども、交通安全対策特別交付金、これがゼロになったというようなその内容です。
戸	それと、その次のページの20ページになりますけれども、認定こども園の一時預り金、民生費の負担金の2番目の児童福祉費負担金の認定こども園一時預り金の負担金、これ予算が30万5,000円だったのが、30万7,000円になったと。どうしてこういうふうになったのかと。まだありますけれども、とりあえずその3つで答えていただきたいと思います。
議	認定こども園の一時預り金、民生費の負担金の2番目の児童福祉費負担金の認定こども園一時預り金の負担金、これ予算が30万5,000円だったのが、30万7,000円になったと。どうしてこういうふうになったのかと。まだありますけれども、とりあえずその3つで答えていただきたいと思います。
長	総務財政課長
議	まず、地方消費税交付金でございます。消費税につきましては10パーセント課税されるわけですけれども、2.2パーセント分が地方の取り分といいますか、地方の取り分といっても地方で消費しているそれぞれの消費額というのは分からないわけでありまして、2.2パーセント分をそれぞれその年の人口ですとか統計調査ですとか、そういったものに応じてそれぞれの都道府
総	まず、地方消費税交付金でございます。消費税につきましては10パーセント課税されるわけですけれども、2.2パーセント分が地方の取り分といいますか、地方の取り分といっても地方で消費しているそれぞれの消費額というのは分からないわけでありまして、2.2パーセント分をそれぞれその年の人口ですとか統計調査ですとか、そういったものに応じてそれぞれの都道府
務	まず、地方消費税交付金でございます。消費税につきましては10パーセント課税されるわけですけれども、2.2パーセント分が地方の取り分といいますか、地方の取り分といっても地方で消費しているそれぞれの消費額というのは分からないわけでありまして、2.2パーセント分をそれぞれその年の人口ですとか統計調査ですとか、そういったものに応じてそれぞれの都道府
財	まず、地方消費税交付金でございます。消費税につきましては10パーセント課税されるわけですけれども、2.2パーセント分が地方の取り分といいますか、地方の取り分といっても地方で消費しているそれぞれの消費額というのは分からないわけでありまして、2.2パーセント分をそれぞれその年の人口ですとか統計調査ですとか、そういったものに応じてそれぞれの都道府
政	まず、地方消費税交付金でございます。消費税につきましては10パーセント課税されるわけですけれども、2.2パーセント分が地方の取り分といいますか、地方の取り分といっても地方で消費しているそれぞれの消費額というのは分からないわけでありまして、2.2パーセント分をそれぞれその年の人口ですとか統計調査ですとか、そういったものに応じてそれぞれの都道府
課	まず、地方消費税交付金でございます。消費税につきましては10パーセント課税されるわけですけれども、2.2パーセント分が地方の取り分といいますか、地方の取り分といっても地方で消費しているそれぞれの消費額というのは分からないわけでありまして、2.2パーセント分をそれぞれその年の人口ですとか統計調査ですとか、そういったものに応じてそれぞれの都道府
長	まず、地方消費税交付金でございます。消費税につきましては10パーセント課税されるわけですけれども、2.2パーセント分が地方の取り分といいますか、地方の取り分といっても地方で消費しているそれぞれの消費額というのは分からないわけでありまして、2.2パーセント分をそれぞれその年の人口ですとか統計調査ですとか、そういったものに応じてそれぞれの都道府

	<p>県で配分して、また、さらにそれぞれの市町村に交付しているところであります。</p> <p>８００万円の補正でございますが、その年その年によって消費動向というのがなかなか分からない状況でありまして、毎年このような金額が補正できるわけでもないですし、なかなかちょっと予測が立たないという部分ではあります。なので、今年は、大体今年の分については交付額が決まって９，１００万円ほどということで見込みが立っておりますので、８００万円の補正をしたところであります。</p>
<p>議 長 議 長 住 民 税 務 課 長</p>	<p>交通安全対策特別交付金。</p> <p>住民税務課長</p> <p>交通安全対策特別交付金がゼロになった理由ですが、この交付金の算定基準が過去２年の１月から１２月までの事故件数を道の交通安全対策交付金の交付額の基準額に定められておりまして、２７万円を下回った場合は交付されないということになっております。４年度の交付額は２６万７，０００円となっております、若干３，０００円下回っているので交付されないということで減額させていただきました。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>２０ページの２項民生費負担金に係ります認定こども園一時預かり負担金についてでございますけれども、こちらの増額理由につきましては、保育園留学に係る部分でございます。当初全体の見込みが立たないことから若干の人数でしか見込んでおりませんが、実績として令和４年度で２１７件の利用がございました。それに伴う部分の一時預り金が収入として入ってくることによる増でございます。</p>

<p>議 長 上 戸 議 員</p>	<p>以上です。</p> <p>7 番、上戸議員</p> <p>地方消費税、それと自動車の交通安全の特別交付金も来年度も同額の予算計上をしていますので、それがどうしてかということは予算委員会で再度伺いたいと思います。まだ2回目の質問の途中でございますので。</p>
<p>議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>39 ページの雑収入の関係でありますけれども、市町村振興宝くじ交付金128万3,000円入っておりますけれども、これはどこにも交付する予定がなくて、ただもらい放しというふうなことで理解してもよろしいでしょうか。</p>
<p>議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>総務財政課長</p> <p>こちらの市町村宝くじ交付金につきましては、ハロウィンジャンボとサマージャンボですか、そちらの売上金につきまして、それぞれの自治体に人口ですとか、そういったことを基準に配分されている交付金でございます。こちら、防災ですとか、そういったことに役立ててくださいということで、この交付金はそれぞれの市町村に配られているところでございます。一般コミュニティ助成事業と何かちょっとかぶる部分もあるんですが、そちらの部分とはちょっと若干意味合いが違う交付金でございます。</p>
<p>議 長 議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>具体的に何に使うかは、まだ分からない。</p> <p>総務財政課長</p> <p>具体的には、町の防災関係の事業に充当するよということ、そちらから指示のあるとい いますか、一般財源は一般財源なんです、そういった防災の関係に役立ててくださいとい うことで交付されているお金であります。</p>

<p>議 長 香 川 議 員</p>	<p>6 番、香川議員 29 ページの 6 目 2 節になります。教育旅行支援事業支援金、これの概要と目的を教えてくださいたいのと、33 ページのふるさと寄附金になります。ふるさと寄附金 1,030 万円の大幅な減額補正になっておりますけれども、その要因について説明のほどお願いしたいと思います。</p>
<p>議 長 教育委員会事務局長</p>	<p>教育委員会事務局長 先ほどの 29 ページの 6 目 2 節の教育総務費補助金の教育旅行支援事業支援金ですが、北海道の事業として 4 年度継続、昨年度も継続になっていたんです、3 年度も実施されたんですけども、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策として、北海道内の教育旅行に関して、やはり密になることを避けるためバスを複数台借りて、例えば本来 50 人乗りに 50 人乗るということは当然密になりますますので、例えばそれを半分半分に分ける、その 2 台となった分の実施した 2 台目に当たる経費を助成してくれる、その経費のバス、例えば修学旅行であれば 1 台当たり 1 万 4,000 円の部分でもらえると。 今年度は、小学校の修学旅行が該当で、27 万 5,000 円の補助率半分で 13 万 7,500 円が該当するという事で申請しました。 もう一つ、その後に今年度、スキー事業も同じように各学校で行わせていただきました。厚沢部小学校と館小学校で計 6 回分、トータル金額が 102 万 2,200 円、その補助率が 2 分の 1 ですので 55 万 1,100 円を見込み、先ほどの 13 万 7,500 円と合わせて 68 万 8,000 円を申請して、一応内諾を得ていますので、そのままこの金額が入ってくるという形でこの事業とし申請していたものであります。 以上です。</p>

<p>議 長 政策推進課長</p>	<p>政策推進課長</p> <p>33ページのふるさと寄附金の関係でございます。</p> <p>実は、令和3年度の実績が3,200万円ほどの実績がありましたので、令和4年度3,500万円程度見込んでおりました。というのは、運営サイト、今まで2つのサイトでふるさと納税を呼びかけてきたんですけれども、令和4年度1つ、ふるなびというサイトを増やしまして、それで増額を見込んでいたんですけれども、残念ながらといいますか、ふるさと納税、コロナの関係で巣ごもり需要といいますか、ふるさと納税伸びているまちが結構あったんですけれども、コロナが収まりつつあってふるさと納税がちょっと下がった、大きく伸びているまちもあるんでしょうけれども、厚沢部町としてはそういった需要が下がり減ったものと考えております。</p> <p>また、ふるなびに加えまして保育園留学事業で取り組んだ旅先納税という制度も増やしまして、こちらは、例えば旅行で現地に訪れたときにその場でふるさと納税、スマホでふるさと納税ができて、電子クーポンが、例えば1万円寄附したとき3,000円の商品券、電子クーポンがつきます。その3,000円でこの厚沢部町内で買物ができたり、飲食、食事ができたりというようなふるさと納税の仕組みも導入しておりますが、残念ながら現在、今年度の見込みとしては2,300万円から2,400万円程度と見込んでおまして、その分減額したところで</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 香川議員</p>	<p>6番、香川議員</p> <p>まず、29ページの教育旅行についてなんですけれども、先ほど教委事務局長の説明で修学旅行、そしてスキー授業で使ったという話で伺っていますけれども、教育旅行という大きなくくり</p>

<p>議 長 教育委員会事務局長</p>	<p>で、例えば違う旅行にもその支援金は使えるのかをお尋ねしたいのと、あと、33ページのふるさと寄附金なんですけれども、先ほど課長の説明でコロナが収まりつつあったので減額になったという話の説明なんですけれども、どうもちょっと私理解できないんですけれども、例えば収益というか寄附金を伸ばしているまちというのは、どういう取組、どういう商品を返還する格好で結局伸びているのか、その辺お尋ねしたいと思います。</p> <p>教育委員会事務局長</p> <p>まず、修学旅行相当分といった分につきましては、基本的には教育旅行ですので、ほかの旅行もという今お尋ねなんです、今回の申請基準の中には修学旅行相当分しかそこにはまらなかったものですから、その分しか申請しておりません。</p> <p>スキー学習については、今年度新たに追加という形で秋から申請、受理された部分であります。これは冬期観光施設、スキー場も観光施設ということでみなされるということでしたので、今回先ほど言いましたとおり、厚沢部小学校と館小学校。鶉小学校が該当しなかったのは、直接自分たちで借りているので町費からの支出でなかったものですから、鶉小の該当がないという形で、先ほど言いませんでしたけれども入ってなかった部分であります。厚沢部小の6回というのは、複数学年が2回ずつ行ったということになります。館小は、トータルで全学年が2回行ったというので2回になります。それぞれその冬期の分につきましては、貸切バスの1日目の分で、なおかつ2台、先ほど言いましたように2台目の分、最大が1台当たりの単価で8万1,500円以内で整理しているところであります。</p> <p>以上です。</p> <p>政策推進課長</p>
<p>議 長</p>	

<p>政策推進課長</p>	<p>厚沢部町におけるふるさと納税の返礼品につきましては、町としては魅力のある商品をそろえてPRしているところなんですけれども、やはり海産物といいますか、そういった肉ですとか、そういったものが人気があるのかなど。それと、あと最近はいろんな物品、トイレットペーパーなど、そういったものも人気があると聞いていますけれども、こればかりはニーズをつかまないといけないという部分もありますけれども、我が町の特産品をまた見直して、PRしていかなければならないのかなと考えております。</p> <p>先般、檜山管内で合同で、この管内のふるさと納税の実績を上げていきたいと思いますということで検討チームを立ち上げたところであります。そういった中で、また優良事例等を研究しながら来年度以降また見直していきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>課長にちょっと聞きますけれども、これだけ1,030万円下がった事例はどのような要因だと、魅力がなかったのか、それともほかのまちでも同じような返礼品を出していて、厚沢部町に入ってこなかったのか、PR不足なのか、1つのサイトを増やしたにもかかわらず減額になっているということは、どういうふうを考えるか。もう少しちょっと詳しく答弁してください。</p>
<p>議 長 政策推進課長</p>	<p>政策推進課長</p> <p>実際のところ、ふるさと納税の金額が伸びると想定していましたが、そういう簡単なものではないなというのが実感であります。先ほども申し上げましたとおり、今後管内一丸となってといいますか、また、優良事例を検証しながら新しい取組を考えていきたいと思っております。</p> <p>まず、1つに、ふるさと納税の運営代行業者というのを現在、奥尻町ですとか北斗市、松前町、七飯町が使っている業者があるんですけれども、こちらの実績が伸びているということもあ</p>

<p>議 町</p> <p>長 長</p>	<p>りますので、そういった代行業者を見直すというのも来年度以降考えていきたいと思っております。</p> <p>町長</p> <p>ふるさと納税、この寄附金の関係であります。御案内のように全道、全国おしなべて人気のあるのが、肉というのが今返礼品の中で一番人気であります。これ、それぞれの畜産事業があるまちは肉を出すということ。この肉の返礼品というのは非常に人気がありまして、ふるさと納税もそちらのほうへ集中していっていると。一時は海産物が非常に大きなウエートを占めたわけですが、近隣町では、今年度の額が7億円ぐらいへっこんだそうです。やっぱりそういうふうには肉のほうに寄附者も動いているというふうなことがあるんだと思います。残念ながら我が町には肉の返礼品はありませんので、そういう中で徐々に減っていると。</p> <p>また、同時に、神奈川のほうでは従来厚沢部町に大きな寄附を出していた会社の社長さんが亡くなりまして、そちらのほうも寄附金がなくなってきたと、こういうふうなこともありまして、そういう返礼品のほう、それから会社の運営のほう、こういうものも含めて厚沢部町にはちょっと大きな打撃があったと、こういうふうなことであります。</p> <p>いずれにしても、こういうものに代わる厚沢部町では物を出していかなければ、これからは勝てないというふうなことになります。</p> <p>したがって、今厚沢部町では真冬に出すアスパラというのは、これ大変人気があります。こういうものの生産というものをいかに厚沢部町がこれから確立して商品として出せるか、こういうものがこれからの大きな検討材料になろうと思います。</p> <p>今、御案内のように、ハウスの暖房については油は非常に高騰しておりますから、経費的には</p>
-----------------------	--

<p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>議 長</p> <p>佐々木議員</p> <p>議 長</p> <p>教育委員会事務局長</p>	<p>間に合わない。したがって、早いうちに電気燃料というものを早くつかんで、真冬のハウスの熱源にしたいと、こういうふうな考え方もございますので、そういう時期になりますと、どんどんよそのまちにないこういう返礼品をつくと、こういうふうな考え方で進んでいかなければいけない、こういうふうに日頃から考えております。</p> <p>いずれにしても、今ありきたりの野菜関係ではちょっと人気薄であると、こういうふうなことでございますので、今課長が説明しましたように、これからの厚沢部町の特産というものを夏冬も関係なく出せるようなものでよそのまちと対抗していかなければ勝てない、こういうことになりますから、そういうものを少しでもこれから検討していきたい、こういうふうに思います。</p> <p>それでは、議事の途中でありますので、休憩して昼食といたします。</p> <p>午後は13時から再開いたします。(11:55)</p> <p>午前中に引き続き会議を開きます。(13:00)</p> <p>歳入の質疑を続行いたします。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>38ページの奨学金の増額要因という部分で、当初予算では30人見込んでいたんですけども、これどういった要因で増額になったのか、大変喜ばしいことだと思うんですけども。</p> <p>教育委員会事務局長</p> <p>この償還金の今回の増額につきましては、今年度から償還が始まった4世帯5名の方が残りの分を全て一括で納付すると申出がありまして、4人分で最大9年分から高専の方で4年分まで含めてのこの4人の方の全額納付が残りの返済になったため、今回その分だけが収入増となったために補正したものであります。</p>
---	---

<p>議長 中山議員</p>	<p>以上です。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>3点ほどあるんですけれども、まず1点目はページ数でいくと20ページです。公営塾の利用者負担金が30万円減額されています。この要因をお知らせ願いたいと思います。</p> <p>それと、その一番下に学校給食費負担金87万9,000円減額されています。これについての内容説明をしていただきたいというふうに思います。</p> <p>それで、もう一点は40ページになります。40ページに衛生費の病院債ですけれども、今回は2,400万円程度減額されているわけですけれども、説明書のところで充当金が最初870万円減額されて、その後、同じような繰越金ですけれども520万円と。何かこの辺のやり取りの増減の内容説明をしていただきたいというふうに思います。</p>
<p>議長 保健福祉課長</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>20ページの総務費負担金に係ります公営塾利用者負担金でございますけれども、こちらにつきましては、当初見込みより実績の利用人数が思ったより伸びませんで、それで減額するものがあります。人数は、すみません、ちょっとお待ちください。</p>
<p>議長</p>	<p>当初なんですけれども、中1、中2、25人で中3、19人、それで高校生が10人ということの見込みでございましたけれども、実際、中1については20人程度、中3については16人で、高校生については、当然高校生も中3も受験終わってから2月、3月退塾するというようなこともございまして、そういう形で月割での人数も減ったことによるものでございます。</p> <p>以上です。</p> <p>学校給食費は。</p>

<p>議 長 教育委員会事務局長</p>	<p>教育委員会事務局長 学校給食費につきましては、児童・生徒につきましては今年度も無償という形になっておりますので、その分ではまずありません。当初見込んでいた分よりも一般的に食べられる、あと、教職員等に徴収された分が人数の見込みよりも減少した結果により、今回減額補正とさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 国保病院事務局長</p>	<p>病院事務局長 40ページ、衛生債の病院事業債について説明いたします。</p> <p>まず、当初2,550万円の病院事業債を見ておりましたが、こちら350万円の減額というのは、入札により事業費が減になったことによって350万円の減となっております。そして、説明欄の右側、内訳なんですけれども、当該年度が870万円の減、また、翌年度繰越明許費充当財源として520万円を見込んでおりました、こちらにつきましては、当初3月20日を工期で見込んでいた工事なんですけれども、どうしても物の納品とかが間に合わないということで工期を6月末まで延長するということになりました。それに伴いまして支払いが2か年に分かれるものですから、520万円分、病院事業債の充当分ですね、520万円分は翌年度繰越しの財源ということになっております。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 中山議員</p>	<p>1番、中山議員 課長、これ公営塾の利用者ですけれども、大変何か当初はまだ多かったような気がしているんですけれども、これ、課長の報告から見ると、何かしら利用者が少なくなっているのかな</p>

と。児童数が減っているのかどうか分かりませんが、やはりそうだと、今せっかく共済の跡地を整備した中での公営塾の運営ということで進んでいる中では、どうですか、これ人数をもう少し上げるためには、小学校の高学年あたりをターゲットにしてもいいんじゃないかなと。そして、やっぱり学力を向上するというようなことも必要でないかなと思います。ということは、当初は大変感謝されていたこれがこのように減額するというようなことは、利用者が少なくなるといいますので非常に残念な結果ですので、やはり町としても努力が必要でないかなと。子どもたちを多くやっぱり公営塾に通わせるようなスタイルにすべきじゃないかなというふうに思いますが、あとでもう一回答弁お願いいたします。

ちょっと学校給食費の負担金の説明聞いたんですけれども、早過ぎて分かりません。もう一回分かりやすく説明していただきたいと思います。

それと、何か病院のほうなんですけれども、そうすると、スプリンクラーの工事というのは100パーセント完了したんですか。それとも、まだ繰越しするという事は、まだその工事がR5年にやるということになるのか、それについてもう一回説明していただきたいと思います。

議 長
保 健 福 祉 課 長

保健福祉課長

今、中山議員おっしゃったとおり、うちの公営塾、定例でミーティングとかも行っていきます。実際のところは、中学校1年生に入る前にやはり小学生、今当然、言われたとおりなんですよ、スペース拡張してスペースができることによって小学生ある程度高学年を巻き込んで、それを塾としてじゃなくて、公営塾でこういうことをやっているとかというような機会を設けて、中学校に入ったらずい公営塾に抵抗なく入れるような形の取組も進めたらいいんじゃないかという話も実際のところきちんと出ていましたので、アドバイザー、中井アドバイザーもいらっしやいまし

<p>議 長 教育委員会事務局長</p>	<p>て、そういう形でなるべく開放した公営塾という形の展開をちょっと進めてまいりたいと思いますので、職員そろってその辺につきましては利用促進に向けて検討していきたいと思っております。</p> <p>以上です。</p> <p>教育委員会事務局長</p> <p>早口だということで、もう一度繰り返します。</p> <p>先ほども言いましたけれども、先に児童・生徒につきましては、今年度は全額支払いは免除という形、事実上のゼロ円措置になっていますので、その分は含まれておりません。残った分は、一般教職員とセンター職員等の分、あと試食会分で想定した分等なんですが、全体一般教職員が当初見越した分よりも見込み減少と、それ以外に単独で一般的に食べられるような試食会等もほぼ行われなかったという部分の減少が主な要因です。見込んだ分よりも、そもそもの一般分、ほぼ大人の分なんですけれども、その分の給食がなかったということなので、今年度減額補正とさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 国保病院事務局長</p>	<p>病院事務長</p> <p>病院のスプリンクラーの関係でございます。中山議員おっしゃるとおり、工期については今年度中には収まらなくて、おおむね6月末までに完了できる見込みとなっております。大体今年度中に85パーセントは完了できると思うんですが、どうしても市場の関係で物の納期が遅れる物については4月以降の施工となってしまいますので、基本的には工事は順調に推移しておりますので、物さえ入れば完了できるかとは考えておりますが、ちょっと年度は越えてしまうものです。</p>

<p>議長 中山議員</p>	<p>から、繰越しということで補正させていただいております。</p> <p>以上です。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>公営塾なんですけれども、町長、これだけ期待された公営塾が減額するというのは、非常に残念なんですけれども。今、子どもたちの英語の勉強というのは、どの程度この公営塾で力を入れてやっているのか。これは中学校との連携もあるんだろうと思いますけれども、この辺の対応というのは町としては考えているのかどうか。</p> <p>それと、学校給食なんですけれども、最近うわさを聞くと、ちょっと大人の方が一般の方々が少なくなったと、食べる方が。何かしら聞くとところによると、ちょっと味が落ちてきたんじゃないかというような、コロナのせいで、いろんなまた物価高でそういうふうな状況になっているのか、我々また議員の人方にも一回食べてみたほうがいいよと言われてますので、1回そういう機会持ちたいなと思っているんですけれども、その辺は食味という点は大丈夫なのかどうか。その辺どんなものなのか、後で感想を教えてくださいなと思います。</p> <p>それと、病院なんですけれども、どうなんですか。これ納入の問題から明許に使うというのは、何かしら聞くとところによると、余り事業がうまくいってないというような話もちらほら聞くんなんですけれども、その辺は大丈夫なんですか。</p>
<p>議長 保健福祉課長</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>中山議員の御質問の英語の関係でございますけれども、中学生、高校生ひっくるめて英語、数学をまず中心に、中学校であれば5教科、高校であればまず3教科ということで進めているところでございます。あと、小学校におきましても英語につきましては、授業のほうでもう高学年始</p>

<p>議 長 教育委員会事務局長</p>	<p>まっている状況でございますので、そういう部分を引き継ぎながら、もし機会があれば、先ほど申しましたけれども、公営塾とかのそういうフリースペース使って、そういうふうな展開を進めてまいりたいとも考えております。</p> <p>以上です。</p> <p>教育委員会事務局長</p> <p>先ほどの中山議員の質問ですけれども、給食そのものの味については、議員がおっしゃっている部分では少し落ちているとか何かという形で感じられているような判断なのかなと思いますけれども、私からしてみると、私も担当1年ですけれども定期的に検食はさせていただいていますし、それほど状況に不自然、不自然という表現おかしいですけれども、そんなに味がおかしいとかというのは聞いていませんし、定期的に学校の意見等をいただいた会議等でもそういった意見は上がってきていませんので、それほど極端な低下はないというふうにセンターとしては感じているところであります。</p>
<p>議 長 国保病院事務局長</p>	<p>病院事務局長</p> <p>病院スプリンクラーの関係でございます。事業のほう、なかなかうまく進んでないんじゃないかという御質問なんですけれども、工期は実際延びてしまいましたが、こちら施工業者の問題ではなくて、あくまでメーカーさんの納入状況の問題ということで、施工に関しては順調に推移しております。</p> <p>ただ、病院の中、ぱっと見いろんなところを工事しているので、ばたばたしている印象はあると思いますが、私たちも2週に一遍程度、業者さん含めて設計屋さん含めて打合せしておりますので、そこら辺は工期は延長になってしまいましたが、延長になった工期で完了できるように順</p>

高田議員	ページ32ページ、不動産の売払収入で町有林の立木売払収入453万円ですけれども、これの場所がどの地区なのか、それと、どのぐらいの量というか広さなのかということをお願いします。
議長	農林課長
農林課長	町有林の売払いであります。これにつきましては、すみません、ちょっとお待ちください。 すみません、失礼しました。町有林の売払いですが、これにつきましては、鶉町の町有林から切り出されたものと、あと、複層林の部分で旭丘の町有林、この2か所から搬出されたものであります。
議長	課長、立木だから、搬出して立ち木のまま売ったんだろう。
農林課長	鶉町と旭丘の町有林からの立木、立ち木です。面積としましては、鶉町で3ヘクタール、旭丘で3.08ヘクタール、この面積が町有林の立木の面積となっております。 以上です。
議長	ほかに、歳入全般について質疑ありませんか。（発言する声なし）
議長	それでは、歳出の質疑に入ります。
議長	歳出は款ごとに行います。
議長	初めに、1款議会費について質疑ありませんか。ページ数は42ページです。（ありませんの声あり）
議長	それでは、2款総務費について質疑ありませんか。ページ数は43ページから56ページまでです。
議長	7番、上戸議員

<p>上 戸 議 員</p>	<p>総務費ということの今くりですけれども、そればかりでなくて、予算つくるときは費用は多めに計上して、それと収入は少なく計上すると、これが鉄則だというふうに思っていますけれども、この補正予算を見ると、病院が結構おっきい金額がまた支出になったり、肥料の高騰対策、それと除雪費も多く出ていると。それと、ここにはないんですけれども、価格高騰対策で1億8,000万円もついでこの間も補正予算で決議したというようなことの中で、また財政調整基金も2億4,300万円、これも貯金するというふうなことで、これを見ると、押しなべて収入も少なくみて、費用もかなり余っているというふうな状況なんですね。これって、どういうことがこの原因として考えられるというふうに認識しているか、御説明をお願いします。</p>
<p>議 長 上 戸 議 員</p>	<p>上戸議員の今の質問は、総務費に限ったものではなくて歳出全般ですね。 そうです。やるところなかったものですから、費用全般についての質問なのでちょっと外れるかもしれませんが、お許しいただきたいというふうに思います。</p>
<p>議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>総務財政課長 今、上戸議員からの御質問で、歳入はちょっと低めに見て、実際補正したら多く膨らんでますよねと、歳出は軒並み減額になっていて、先ほども何かちょっとお話あったんですけれども、ちょっと過大に見過ぎているのではないかというような御指摘じゃないかと思うんですけれども、あくまでこちら補正予算の減額でございまして、予算は予算で確かに見ておいて、歳出3月までの見込みを出して、これだけ余りますよということで歳出については減額しているところがございます。 確かに何か大きい金額が減額になっていて、歳入についてもほとんど減額なんですけれども、交付税の余った分を全部今こちら全額計上したりしているところでした、歳入についてはちよっ</p>

と膨らんでいると。歳出について言いますと、コロナの関係もありまして事業が中止になったりして若干1,000万円単位で減額しているところもあります。素敵な過疎のまちづくり事業ですとか、そういったところを減額して補正しているところをございまして、最終的に歳出のほうで積立金として2億4,300万円ですか、こちらのほうを出していると。

要は、過大に積算して、ちょっと余しておいてこういった積立てをしているのではないかというふうなお話かなと思うんですけれども、厚沢部町、例年3月の最終補正で歳入は留保している分を目いっぱい見まして、歳出はもうできるだけ落とすというふうなやり方をしております。それで歳入歳出差し引けば、当然剰余といいますか、歳入の余った分というのが出てくるわけございまして、2億4,300万円ほどちょうど歳入歳出差し引き余ったところで、余った分を財政調整基金に積立てするところの歳出でこういった形で表れていることをございまして、過大と言われれば過大な部分、正直言ってあるのかもしれない。ただ、今3月を迎えまして見込みを立てまして余った分はもう落としてしまうと、補正予算で落としてしまうというところで、こういった形の2億4,300万円余ったお金を積立てとして積むということで補正予算を組ませていただいたというところをございます。

議 長
上 戸 議 員

7番、上戸議員

ちょっと答弁長くて要領得なかったんですけれども、この後決算になったら、多分また不用額が出てくるんでないかなというふうに思うんです。これが悪いのかいいのかということなんですけれども、例えば予算案、今この後、令和5年度の予算を審議するわけですからけれども、それをがちににして、例えば必要だよというふうにどこかの課が上げてきたやつも、予算ないから駄目だというふうなやり方を結構しているんじゃないかなというふうに思うんですよ。そして最終的

議
町

長
長

に蓋を開ければ、まだこんなに予算余って、余ったお金を財政調整基金に積むと。これのずっと繰り返しが今までの貯金の額だとは言わないけれども、何かそういうふうな考え方が職員にかなり浸透して、町長の指導がいいんでしょうけれども、そういうやり方が本当にいいのか悪いのかということを考えながら必要なところは、予算回ってないとは言いませんけれども、必要なところにもう少し配慮した形の中での予算組み。それと、何て言うんですかね、予算づけが甘いと言われてもしようがないというふうに私は思うんですよ。

ですから、この辺をもう少し考えながら予算づけをしてもらえればなというふうに思いますけれども、町長、最後にどうですか、何か答弁ありますか。

町長

今、上戸議員の予算の、言うなれば決算見込みというふうな段階での余る余らないというふうな考え方、実はこれ皆さん方も御承知のように、赤字会計を出したらどうなるんだという、こういう第一義にあるわけです。私は16年前予算のあれしたときには、起債よりも基金のほうで3億4,000万円下でした。これは赤字会計の典型的なものです。この赤字というものは、基金がこれだけで起債がこれだけ、会計主義を忘れて話です、それは。これは、今行政であっても会社と同じ考え方をすべきという我々は指導を受けています。会社は、入るものを決めたら出るものをその範囲で決めると、こういうのが会社の運営であります。これはもう行政も全く同じ。

貯金あるところは貯金崩せということになるんでしょうけれども、貯金のないところはどうか。当時、私らは経験していますけれども、隣の某町では決算して3月に職員に給料払う金がない。銀行から借りて職員に給料を払う。4月の末から5月にかけて交付税が入ってきたときに、

一時借入れしたものを償還すると。我々はこの自転車操業と言うんですけれども、そういう町が隣近所にあった。ですけれども、原則としてそれは歳入も歳出も関係なく、腹いっぱい歳入をみて、腹いっぱい歳出使う。そうしたら、たまたま交付税が少なかったといえれば赤字になる。そういう危険な経営というのは、そもそも会社経営じゃありませんよと、こうなるわけです。

ですから、私どもは第一義に私になったときには、職員には流用してはならんという条件をつけました。予算を組んで余ったから、そっちこっちで流用して使ってしまうなんて、そんなことはならん。流用というのは一番危険な金の使い方、こういう考え方の中で今までずっと予算編成。どうしてもやむを得ない、もう臨時議会でも開かなきゃならんという場合には、そういう流用の金が容易にできる場合にさせる場合もありますけれども、通常では流用はならん、こういう話。その代わり、入ってくる交付税も税も腹いっぱいみるんじゃなくて、やはり9割程度に抑えて、万が一災害だの冷害だのと来た時には入るものが入ってこなくなるわけですから。だから、そういうことも踏まえた予算編成というものは当然必要。ですから、この入るものに合わせて、出すものもそういう出し方をすると。

ですから、最終的にはこういうふうな余り金が、大体12月で普通調整するんですけれども、ただ、こういう時期になると2月、3月まで何が起きるか分からんようなこの行政になりますと、やはりある程度確保しておきながら、充当できるようなやり方をしなければ行政が止まると、こういうことですから。うちは幸いにして満度に交付税も最初から当初から最大限見るんじゃなくて、国の交付税なんかもいつどういふふうな動きになるか分からんわけですから、そういうものの中でおおよそ9割程度の中で抑えながら、そして全体予算の計画をしながら、歳出をそ

れに合わせて最大限出せる範囲まで予算を組むと、こういうことが、会社もそうですし、行政も今はそうです。

ですから、決算に穴を空けないという、そういう原則からいきますと、今うちのほうがやっているのは非常に健全な方法、健全なやり方。余り過ぎるんじゃないかと、確かにそのとおり。これ12月でもうちょっと調整の仕方がありますけれども、このぐらい余って、財調も大きなまだ2億3,000万円もこの財調するという、こういう状態というのは恐らく今だけだろうと思います。今後これからはそんな余裕のある積み方はできないような行政経理になると思います。そういうことから、積めるときは積むと、将来の子どもたちのために残せるものは残すというふうな原則の中で、別にこれ無駄遣いしていることではありません。こういうふうにして余ったものは逐次積んでいくという、こういう原則の中で進めていますので、確かにこういうふう急に大きな額で三角になっている部分がありますけれども、そういうのは2月、3月で何があるか分からんというものはそのまま留保してきて、今3月で落とすと、こういうふうなことでありますから、予算編成の中では健全財政という中での積算をしているということを御理解いただきたい、こういうふうに思います。

議 長
上 戸 議 員

7番、上戸議員

町長の言うのも十分分かります。今まで町長やってから財政健全化のために相当な努力を払われたということも十分理解しておりますし、敬意を表したいと思います。

ただ、余りにも財政健全化、財政健全化だけを訴えると、やりたいものも何も今年無理にやらなくても、二、三年先でもいいんじゃないかなとかというふうにやることも多分あるかも分かりません。ただ、そういうことがないように、適宜適時に予算執行をできるような、頭の中をそう

<p>議 長 議 長 佐々木議員</p>	<p>いうふうにちょっと変えてみたような政策でも予算でもそういうふうに組んでいただきたいというようにお願いです。答えは要りません。よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>ほかに、2款総務費について質疑ありませんか。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>43ページです。会計年度職員655万2,000円減額になっていますけれども、8職種にわたって採用していると思うんですけれども、どの職種でこういった原因が発生されたのかということをお聞きします。</p>
<p>議 長 教育委員会事務局主幹</p>	<p>教育委員会事務局主幹</p> <p>会計年度任用職員の報酬の減額655万2,000円のうち約半分近くが教育関連のもので、私のほうから説明いたします。</p> <p>一番大きいのが、プールの管理人、監視人の報酬になります。募集したんですけれども、なかなかちょっと人が集まらないということで、その分はちょっと職員が代替したりとか、できる人をちょっと報償費という形で雇って行ったという部分が一番大きいです。そのほか総合体育館の管理人ですね、その報酬ですね。今2人でシフトで組んでいるんですけれども、若干日曜日とかそういう代替の部分で報償費として払っている部分があったので、この会計年度任用職員の報酬のほうで少し余ってしまったというところが大きいところです。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長 佐々木議員</p>	<p>10番、佐々木議員</p> <p>委員会のほうでプールと総合体育館というようなことなんですけれども、そういった部分で運営といいますか、職務上、弊害というかそういうことはなかったんですか。</p>

議	長	教育委員会事務局主幹
教育委員会事務局主幹		<p>特にプールですね、管理人2人と監視人2人ということで募集をしていたんですけれども、なかなか集まらなかったということがございます。どうしても集まらないときは、我々職員がその時間帯行って対応していたということも結構ありました。</p> <p>以上です。</p>
議	長	不具合はなかったということでもいいんですか。
教育委員会事務局主幹		そうですね、特に支障はございませんでした。
議	長	10番、佐々木議員
佐々木議員		<p>プールを運営する部分では弊害はなかったということですが、職務のほうでは当然そういった職務の部分に影響があるということが表れていると思います。そういった部分で、基本的にはやっぱり報酬が安過ぎるんじゃないかという部分も考えられるんですけれども、その辺はどうなんですか。予算にも絡んでくるんですけれども、そういった部分の改善というか、どういうふうなことを考えておられるんでしょうか。</p>
議	長	教育委員会事務局主幹
教育委員会事務局主幹		<p>確かにプールの管理人ですとか体育館の管理人だとか、そういった現場に張りついている職種について、肉体労働ということもありますので、報酬が安いからなかなか人が来ないという状況ももしかしたらあるかもしれません。ただ、会計年度任用職員制度としていろんな職種ございますので、いろんなバランスを考えながら報酬については検討していかなければならないかなというふうには考えております。</p> <p>以上です。</p>

<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>9 番、高田議員 ページ数が 47 です。まず 1 つ、負担金補助及び交付金のところの札幌厚沢部会と東京厚沢部会マイナス 27 万円なんですけれども、確認なんですけれども、今回、東京厚沢部会 3 月ありますよね。その厚沢部会、東京があるのにマイナスになっていて、たしか函館がやらないのに函館がマイナスになっていないというところがあって、これどういう内容でこれ減額になっているんですか。</p>
<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>政策推進課長 まず、東京厚沢部会のほうなんですけれども、こちらのほう、既存の財源で今年度は賄えるという連絡をいただいております。令和 4 年度につきましては辞退するという連絡をいただいております。 函館厚沢部会につきましては、交付申請がありますので、申請に基づいて交付するというところで対応しております。</p>
<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>札幌と東京は、財源は間に合うということなんですか。 札幌厚沢部会につきましては、交流会と総会を中止しておりますので、交付は要らないと。 東京につきましては、既存の財源で賄えるので、今年度は申請しませんという連絡をいただいております。</p>
<p>議 長 高 田 議 員</p>	<p>9 番、高田議員 同じページでもう一つ確認なんですけれども、一番下に工事請負費で庁舎の照明器具 LED 化工事費とあります。18 万 2,000 円の減額なんですけれども、新年度予算見ると特に、出てくるのか分からないんですけれどもないので、いよいよこれで LED 化って終わったのかなと。</p>

<p>議 長 総務財政課長</p>	<p>今回どこをやって、もしも残っているところがあったとしたら、それを知らせてください。</p> <p>総務財政課長</p> <p>今回のLED化の工事につきましては、大きいところ、ほとんどもうやってしまっているんですけれども、ふだんそんなに使わないといいますか、印刷室ですとかその他にもろもろの小さい部屋ですとかを一斉にLED化したところでもあります。</p> <p>LED化になってないところは、若干ですがありますけれども、壁伝いの照明ですとか、非常にちょっとやるのにも費用がかさむようなところは実際やらないということで、このすぐそばの壁の照明ですとか、そういったところは手はつけておりません。大体もうほぼほぼLED化はされております。</p>
<p>議 長 中山議員</p>	<p>ほかに、2款総務費について質疑ありますか。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>同じページの47ページなんですけれども、一番上に防犯カメラ等の購入費あります。これは、何機、町内のどこに設置したのか、それと、この管理はどこでしているのか、それについて説明していただきたいと思います。</p>
<p>議 長 住民税務課長</p>	<p>住民税務課長</p> <p>本年度当初3か所、赤沼町1か所、館町2か所の合計3か所で予算要求しておりました。発注時に警察署のほうと現地確認したところ、泥川橋の付近は開発の河川の水位のカメラがあり防犯カメラは必要ないのではないかという指導を受けまして、館町の町内会のほうと協議したところ必要ないよということで、今回2か所今年設置しました。</p> <p>今現在ついている場所なんですけれども、ちょっとお待ちください。すみません。</p>

<p>議 長 中山 議員</p>	<p>全部で3年度に5か所、今年度2か所の合計7か所設置しました。</p> <p>それで、維持管理なんですけれども、今までは特に維持管理というものはしておりませんでした。ただ、来年度、次年度には委託し、月1回のカメラの位置、あとは汚れなどの状況を委託して管理するという予算を計上しております。</p> <p>以上です。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>これは我々議会報告会やった中での各3地区の警察の方々から防犯カメラをつけてほしいということで要望した中での設置ということになったんですけれども、今聞くと、まず1点問題なのは、管理がはっきりしてないと、どこで管理をきちっとするのか。それと、どういう事態になったときにこの防犯カメラを、設置した以上はいろんな意味でやっぱり利用しなければ駄目だと思いますけれども、この辺についての考え方。例えば、今要らないところもあると、つけなくてもいいよということもあるんですけれども、例えば私の鶉の信号とか、あるいは大変今空き家が増えてきて大変夜危険なところなんですけれども、夜は作動してないということではないですか。その辺はどうなんですか。</p>
<p>議 長 住民税務課長</p>	<p>住民税務課長</p> <p>町内に設置してある防犯カメラは、人感センサーで人が通ったときに作動するというものであります。データの確認につきましては、何か事件事故等起きた場合に警察署等からの依頼をもって確認するという方法を取っております。</p> <p>維持管理につきましては、今年度までは特にやっていなかったんですけれども、やはり風等とか雨とかで汚れがついたり、カメラの位置が正しい位置の撮影ができない場合があるということ</p>

<p>議 長 中山 議員</p>	<p>で、今年度からメンテナンスをする予算を計上しております。全7か所です。</p> <p>空き家の部分について作動するののかというのは、先ほど言ったとおり、人感でセンサーが動いて録画するというものなので、そのときは作動はいたしません。</p> <p>以上です。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>これは今聞くと、何か有事あったときには調査するよということなんですけれども、私が聞いた中では、大体夕方5時、6時になるともう作動しなくなるよというようなことがあったので、ぜひ議会あったときに言ってくださいということと、もう一つは、町内の危険なところ、今暗くなると大変なところにやはり設置すべきということになっても、暗いところの対応ができないということだったら、これ全然使い物にならないんですよ。ですから、まず、設置場所をもう一回点検して大事なところに設置するということと、管理の徹底をするということ。それと、防犯カメラの機能の強化をしないにつけた意味がないということになりますので、その辺について、3点について今後協議していただきたいなと思うんですけれども、いかがですか。</p>
<p>議 長 住民税務課長</p>	<p>住民税務課長</p> <p>今、中山議員がおっしゃったように、人のいないところに設置しないということかということではなく、一応この防犯カメラというものは、町内会のほうから危険箇所なので設置してほしいという要望が上がりまして、現地調査し、設置をしているわけでありまして。今後の検討としましては、町内会のほうと協議いたしまして、設置してほしい要望があれば、現地、警察署、町内会等と協議して設置を考えたいと思います。</p> <p>以上です。</p>

<p>議 長 山 崎 議 員</p>	<p>2 番、山崎議員 50ページの保育園留学の推進拠点整備計画策定業務委託料がマイナス300万円の補正をされているんですね。それで、この整備計画というのはどういうような形に仕上がっているのか、それまず質問したいと思います。それと同時に、この保育園留学というのは今全国的に厚沢部町が注目されて、多くの方々が厚沢部町に行ってみたいという、そういう要望があるように聞いております。それに対してどういう応え方をしようとしているのか。まず、計画の策定の度合いというのか、その辺のところ、そして、この300万円をマイナス補正したという意味合いがどういう意味なのか、それを答弁願います。</p>
<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>政策推進課長 まず、50ページの保育園留学推進拠点整備計画策定業務委託料マイナス300万円ということなんですけれども、ちょうど昨年度、この議会で拠点整備計画ということで予算計上させてもらったと思うんですけれども、これは、旧厚沢部保育所がある敷地を保育園留学で来る方々と地域住民とが交流する場ということで、その一帯をそういった拠点としようという計画をしていたところでありまして。そこで公営塾もそのエリア内に設置して、そういった交流ができるようにということで考えておりましたが、年度途中で農済さんの建物が町の所有になったということで、そちらのほうを公営塾に使うという計画に変更になりましたので、この基本計画につきましては減額するということになりました。 あと、保育園留学、令和4年度3月までで149件の利用申請が来ているということで、問合せにつきましては1,500件以上、キャンセル待ちも1,500件以上ということで聞いております。要望としては多いということで、新年度予算のほうにもなりますけれども、そういった</p>

<p>議 長 政策推進課長</p>	<p>受け入れる体制の整備というのを新年度予算のほうで計上させていただいておりますので、またそれは後ほど御説明の機会があれば説明させていただきたいと思います。</p> <p>課長、今回の300万円の減額については、整備計画は策定したんでしょう、しなかったの。</p> <p>いえ、しない。計画が変わりまして、この拠点整備計画をつくらないことにして、全額減額するという補正予算になります。</p>
<p>議 長 山 崎 議 員</p>	<p>2番、山崎議員</p> <p>それは、何でつからないんですか。だって保育園留学は今言ったみたいにして多くの全国から厚沢部町に要望があるわけでしょう。どうして計画、そういう受入れ体制の計画をつからないんですか。それは、確かに公営塾は共済組合の事務所のほうに移ったかもしれないけれども、この今のところは保育園留学に対する受け入れる体制整備は何もないわけでしょう。それを予算化しながら、どうして中止するんですか。</p>
<p>議 長 政策推進課長</p>	<p>政策推進課長</p> <p>ちょっと説明が足りなかったかと思います。</p> <p>この拠点整備計画につきましては、減額で中止して減額補正という形になったんですけども、旧厚沢部保育所のエリアにつきましては、また別な構想で交流ができるような建物整備について今現在検討中でありまして、1つは道営住宅の建設事業というのがありまして、そちらのほうに今手を挙げている状況であります。そちらのほうが今月中にある程度内示のような形で連絡いただけるかと思っておりますが、全道で2か所ぐらいしかこの事業は当たらないという話もありますので、何市町村が申請しているか、その辺は今現在分からない状況でありまして、採択になるかというのはまだまだ分からない状況であります。</p>

議長
山崎議員

いずれにしましても、その道営住宅の構想も該当にならないということであれば、また改めて拠点整備計画をしていきたいと考えております。

2番、山崎議員

これは整備計画策定でしょう。だから、例えば政策推進課というのは、この保育園留学をどのような形で捉えて、行政としてどういう対応するかという、そういう腹案のものがなかったら業務計画策定見えないでしょう、こういうことでは。だから、今旧保育所、あそこのところを今新たに道営住宅を建設するとか、そういう計画が持ち上がったと言うのであれば、そもそもしたら、この保育園留学というのはどういう体制をつくるのが行政としては計画なんですか。そういうのを何も持ち合わせなくて、ただ業務委託するんですか。

そうすると、最終的には旧保育所というのは、あそこのところの部分について、例えば今私も聞いているんですけども、道営住宅をできれば誘致したいとか、その道営住宅だって、やっぱり保育園留学に受け入れる体制の一つとして考えるわけでしょう。

だけど、その以前に、やっぱりあなた方は保育園留学というものに対して政策的にどういう体制をつくるべきかということ、腹案的なものは何かなかったんですか。そういうものがあって、初めて業務委託するわけでしょう。そういうことで予算というものはつくられたんじゃないんですか。だから、保育園留学というものの政策的な施策って何も見えてこないですね。

いや、だから、一歩進んで宿泊する受け入れる物をまず造らないと、1,500組も厚沢部町に行ってみたいという、そういう要望があるのであれば、それを受け入れる体制をどういうふうにしてつくっていくかということをもまず内部で検討して、その上でいろんなこういう業務委託というものをかけて細部にわたって固めていくというのが私の考え方なんだけれども。ただ、その

<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>ためにもやっぱり課長のほうで、いろんな保育園留学というものに対してあなた方の政策的な案というものはあるはずなんですよね。それをどういうふうにあなた方は捉えているんですか。それが、やっぱり宿泊する建物を建設するということが第一であれば、そういうことでやらなければならないだろうし、それとはまた別な何か違う施策があるのであれば、それもまた固めていかなければならないだろうし、ただ、ここで業務委託というだけでこれ進めるのであれば、何年たったってこれでは保育園留学の政策的な体制を固めることできませんよ、このままでいったら。私、そう思いますよ。もし何か御意見ありましたら聞かせてください。</p> <p>政策推進課長</p> <p>去年の令和4年度の当初予算審議の際に御説明したと、当時の担当課長が説明したと思うんですけども、保育園留学につきましては、事業全体につきましては、地方創生の計画の中で業者に委託しているわけではなくて、協議会を中心としまして事業を組み立てています。</p> <p>ここで言っている拠点整備計画というのは、一部エリアで公営塾とか、住める住宅とか、交流の場を旧厚沢部保育所のエリアに建てるという構想があったものが変更になったので、その部分だけ減額するということです。何も保育園留学事業全体を業者に丸投げすると、そういった計画を丸投げするといった、そういったことではありません。（発言する声あり）</p> <p>先ほども申しあげましたように、当初予算のほうでハード事業について計上させていただいておりますので、そちらのほうでまた審議いただければと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>山崎議員、一応質問の回数が3回超えていますので、私のほうからちょっと今、安田政策推進課長に一応尋ねますけれども、保育園留学推進拠点整備というふうな事業を旧厚沢部保育所の中で策定業務を立ち上げるということは、その旧保育所の中にそういうふうな宿泊施設なり何か</p>

<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>の施設を造る計画があったということによろしいんですか。それが、何か公営塾を共済から購入したので、その必要がなくなったかのような答弁をたしか最初されたと思うんですけども、何か公営塾と保育園留学が何かちょっとミックスしちゃって、よく分からないような答弁になっているんですけども、そこら辺はどうなんでしょうか。</p> <p>政策推進課長</p> <p>具体的な図面とかを示して皆さんに御説明してないのかもしれませんが、私、昨年の4月から担当課長になりましてその際に、そのエリアを公営塾と公住、そして地域との交流の拠点、こういったものを一体的な建物ということで整備する案がありまして、そちらの基本構想計画策定業務ということで当初予算に計上されているという引継ぎを受けておりまして、それが中身が変更になったので、今回減額補正したということになります。</p>
<p>議 長 政 策 推 進 課 長 議 長 議 長 建 設 水 道 課 長</p>	<p>この策定業務委託料というのは、どこに委託をする予定でおられたんですか。</p> <p>具体的には決まっておりました。</p> <p>決まってないにもかかわらず、委託料を計上していたということですか。</p> <p>建設水道課長</p> <p>私も相談を受けまして、去年、予算計上300万円するに当たって相談を受けまして、私は余計なことを言えばあれだったんですけども。</p> <p>あそこの保育所の跡地に、いい場所なので、保育園留学も来るということになると、住宅とかそんなに大きいじゃなくてもアパートくらいのやつを建てるとか、2階、3階に建てて、1階を交流の場所にして、あと、アンテナショップとか保育園留学で来た人がそこでテレワークできるような、そういうような場所を1階につくるだとか、そういうような拠点整備になる場所にな</p>

	<p>らないかということでもちょっと相談を受けて、それであれば、まず役場の中でまず揉むとかいろんなことをしなければならぬので、それで300万円というのは本当の基本中の基本の構想をプロポーザルで例えば設計事務所だとか、そういうコンサルだとかに委託する本当の概要のやつをつくってもらえるような、そういうようなものの300万円を予算化したというような、その算定料300万円の根拠については、基本構想の委託算定の根拠で予算化したらどうですかということで、おとしの12月になりますか、その頃に担当のほうに資料を渡して。まだそのときには、ただ何もどのようなものができるか、まずは庁内でまず揉むということでもちょっと行き着かない。だったので、今回この300万円については全くちょっと計画が、その当時考えていた、1年半ぐらい前に考えていたものと全く変わってしまったので、今回落としたということになっていると私のほうは記憶しております。</p>
<p>議 長</p>	<p>共済から公営塾の建物をほぼ直して今入る予定になってはいますけれども、そのときにはそういうふうな発想はなかったんですか。今のこの計画策定業務の300万円を計上したときには、共済の建物を改造するというふうなことは町として考えておられなかったんでしょうか。</p>
<p>議 長 建設水道課長</p>	<p>建設水道課長 それについては、町長があそこを公営塾にすと言っていたので、それは計画していました。それで、改修工事の今年予算を取ってやっていたけれども、一昨年12月のときに私は、改修工事の積算をして、それではとやって3月まで終わらせて、去年の4月から本当は公営塾をあれすればいいんじゃないかということだったんですけれども、それは担当課、保健福祉課の担当課の考えで。あと、あそここのところ、今の住宅と保育園と一体化したこの保育園留学拠点整備策定業務は政策推進のほうで進めていて、ちょっとそこでかみ合わなかったことがあるんで</p>

<p>議</p> <p>長</p>	<p>すよね。だから、そこの中を取り持って私やったんですけれども、こっちはあそこを単純に改修して今みたくつくる。政策は政策で、もっと補助金もらって、あそこでいろんなことをやりたいというような、ちょっとあったものなので、それがちょっと庁舎内でもうまくいってなくて、そういうことがないように、まず役場の中でみんなプロジェクトチームつくって話合いをして、あそこに本当に何が必要なのか、そういうものを作って、議会に諮って、それからじゃプロポーザルやって、この300万円を使うというようなところの計画だったんですけれども、そこまで行かなかったということでございます。</p> <p>町長とすれば言いにくいかもしれないですけれども、こういうふうに策定計画の委託料と年度予算に計上しておきながら委託されなかったということについて、町長、どういうふうに思われますか。</p>
<p>議</p> <p>町</p> <p>長</p>	<p>町長</p> <p>そもそも今のあの場所の計画というのは、この公営塾というものをぜひあそこに持ちたいと、こういう計画は当初からあったわけ。ただ、問題は、共済の事務所が厚沢部町のほうに手に入るというふうなことの段階から、この公営塾を有効に共済の事務所を使おうと、それで改修計画をしようと、そして、今の保育所の場所については、当初から公営住宅、公営住宅の集合体を造って、今、赤沼、館、鶉のほうにあるその古くなって解体をしなければいけないようなものは、全部ここにコミュニティシティみたいな格好で集めてしまうと、将来的には、こういうふうな体制の中で、この厚沢部町には今一番いい場所、言うなれば最高の場所に公営住宅を建てて、高齢者の方々も全部ここへ集めてしまおうと、こういうふうな中の当初は計画でありました。</p> <p>そういう進めをしている中で、公営塾がひよんなどころから共済の事務所が手に入ったもので</p>

すから、そちらへ全部移行して、今まで散らばっている塾を全部一つにしちゃうよ、これが今回の塾設置条例であります。

そういう中で、今まで子どもについては、御案内のように中学1年生から3年生まで、そして高校生、この範囲での塾を進めていましたけれども、先ほどもお話ありましたように、5年生、6年生あたりから塾通いができないかと、こういうふうな話も町民から出ております。ただ、今の場所では当然狭くてできませんでしたので、今度の塾については、下場がかなりの大きなスペースができます。そういう中で、まず一つは、そういう小学校低学年からでも塾通いしたいという希望があればそちらで受けるし、あるいはもう一つは、海外からの青年が入ってきたら日本語の勉強をさせる日本語学級のそういう教室もその下のほうでつくろうと。こういうものがこれから将来、厚沢部町にはぜひそういう海外の子どもたちが来て日本語を覚えるまでそういう教育する場所も必要、こういう考え方の中で全体構想をつくって進めております。

先ほど課長も言いましたように、去年、急遽、道が今まで道営住宅の当たっていない地域に道営住宅を造りましょうと、こういうおもしろい事業が道から出ました。だから、その中で私のほうはいち早く厚沢部町に道営住宅、今までないのでぜひ入れてほしいという要請をその日のうちに、新聞報道のその日のうちの道まで振興局をつないで道まで、希望します、こういうふうに出して、それぞれいろいろと今までヒアリングをしてきました。希望は、最初は北海道の中で数か所というふうな話でありましたけれども、希望が多くて、何か最終的には2地区ぐらいに絞られると、こういうふうな情報も入ってきました。いずれにしてもその2地区も我々は受けたいと、こういう要請で今協議をしている最中であります。

少なくとも道営住宅、十四、五年たったら町が全部受けて町営住宅にするわけですから、そう

いう中で、御案内のようにあの周りは全部3階、4階建ての公営住宅、町営住宅があるわけです。そういう周りの中に同等の高さの道営住宅が建てば、これは非常に景観的にもいいなど、こういう中で今申請行為の最中でありまして。つい先だっても道とのヒアリングの中で希望を申し上げながら、それぞれの地区の選定を今道がやっていると、こういうことでもあります。これが外されるということになれば、町が独自で物を考えなければならぬし、幸いにして道の指定を受け入れれば、道営住宅をどんとあそこに構えたいと、こういうふうな考え方で、いずれにしても最初に考えた公営塾は完全に今の共済の施設の中で管理できると、こういうふうな考え方の進めを今したところでもあります。そういうふうな、これからの保育所の場所の有効活用というものを考えながら、厚沢部町は目玉商品をぜひあそこにつくりたい、こういう考え方を道のほうに話しているところでもあります。

いずれにしても今月の末頃には内示が出るようでありますから、ぜひそれを取りたいなどというふうな考え方で今進めているところでもあります。

公営塾の計画がないんじゃないなくて、公営塾はちゃんとやる。そして、今保育所の関係は、これ今また地方創生事業の中で住宅を2戸、今上里の住宅のすぐ隣側にもう2戸を設置したいと、これは今町が設置するか、民間が設置するか、これは今これからの協議になりますが、いずれにしてもそういう住宅2戸が新たにできると。こういうことですから、この保育所にはさらに町の住宅が今6戸ですから、今度8戸の利用ができると、こういうふうになる。

それと同時に、今厚沢部町の保育園留学は全国的な組織に変わりましたので、全国的な奄美大島から始まってずっと全国の中で今市町村が4つ、それから民間のが6つ、10、自治体と民間と合わせてこの連合のそういう組織ができましたので、これらについてはお互い交流しながらま

	<p>だまだ今以上の活発な動きが出てきますし、運営そのものが今全体の中で動き出したと、こういうことでもあります。一番最初にできたこの保育園留学は厚沢部町なものですから、全国の会長は厚沢部町の町長がすることということになりまして、現在今、厚沢部町長がこの保育園留学の連合体の会長になったところでもあります。今これから恐らく4月、5月になると大きな動き、そして交流がどンドンどンドン出てきますから、かなりのボリュームになる事業であろうと、こういうふうに思っております。</p> <p>そんなことで、少なくともこの保育園留学については、徐々にこういう宿泊施設を造りながら、そして厚沢部町の特徴を生かしながらこれからも進めていくと、こういうことで考えております。</p>
議	<p>長 保育園留学を推進しようという拠点整備計画の形がはっきりしていない状況で進めたと、そうしていくうちに、新しく道営の住宅の話も出てきたというふうなことで、具体的な計画をつくる前に形が変わっていったということで理解していいんですね。</p>
町	<p>長 そういうことですね。</p> <p>ただ、今私どものこの保育園留学は、民間が宿泊施設を造りたいという言葉もあるんです。ですから、この辺が、この施設そのものが民間が建ててこの保育園留学に使いたいという意見もあるので、その辺の今調整をしながら最終的な計画をつくると、こういうふうな考え方でおります。</p>
議	<p>長 はい、分かりました。</p>
議	<p>長 それでは、議事の途中ですが、14時35分まで休憩いたします。（14：17）</p>
議	<p>長 休憩前に引き続き議事を続行いたします。（14：35）</p>

<p>議 議 香川議員</p>	<p>長 長 議員</p> <p>2款総務費について質疑ありませんか。ページ数は43ページから56ページまでです。 6番、香川議員</p> <p>49ページの12節の委託料並びに13節の使用料及び賃借料なんですけれども、また再度で申し訳ないんですけれども、ふるさと納税業務委託料366万円ほど減額補正と、あと下のふるさと納税サイト使用料94万5,000円減額補正になっているんですけれども、これは単純に寄附金が減ったと、それに付随して、例えば業務委託料であれば、それに対する返礼品の業務のための委託料であるから減ったのか、その辺を教えてくださいたいんですよ。あと、サイト使用料に関しても、これも寄附金が減ったことによって例えばサイトの視聴が減るから、こういう減額補正になるのか、その辺についてお尋ねしたいと思います。</p>
<p>議 政策推進課長</p>	<p>長 課長</p> <p>政策推進課長</p> <p>香川議員おっしゃるとおりであります。ふるさと納税の減額によりまして、委託料、これにつきましては返礼品の費用になります。サイト使用料につきましては、寄附額の何パーセントというサイト使用料がかかりますが、寄附額が減ったことによってサイト使用料も減額になりました。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 香川議員</p>	<p>長 議員</p> <p>6番、香川議員</p> <p>その理由であれば、さっきの歳入の部分で今回寄附金が1,030万円減ったわけなんですけれども、それに対して業務委託料366万円となると結構なパーセンテージになると思うんですけれども、実際どのような割合でこの委託料、いただいた寄附金に対して委託料がどれだけかかるのか。それと付随してサイト使用料も、これだけ寄附額いただいたからサイト使用料何パーセント</p>

<p>議 長 政策推進課長</p>	<p>支払わなければならないと、その辺説明をお願いいたしたいと思います。</p> <p>政策推進課長</p> <p>まず、ふるさと納税の寄附額の43パーセント、こちらのほうが返礼品の調達ですとか運行の代行、送付料、それに税を足して委託料として支払うということで、歳入のほうは控えめに、歳出のほうは万が一と言えば変な話ですけれども、想定よりもこの2月、3月で寄附額が多く来た場合に備えて、歳出は多めに残しているということでもあります。（発言する声あり）</p> <p>先ほども申し上げましたとおり、43パーセントが委託料なんですけれども、そのうちの22パーセントが返礼品調達、送付で10パーセントから15パーセント、それにまた運営代行料ということで6パーセント、それに税金がかかるというような中身になります。よろしいでしょうか。</p> <p>基本的には寄附額に対して返礼品は30パーセント以内で押さえることと。そのほかに、広告費ですとか、そのほかかかる手数料ですとか含めて5割以内に収めなければならないというルールがあります。</p>
<p>議 長 香川議員</p>	<p>6番、香川議員</p> <p>まあ何となく分かったような分からないようななんですけれども。</p> <p>そしたら、43パーセントの内訳で22パーセントが実際の返礼品の物自体の調達であると。それ以外に輸送費や何やかかった中で、最終的には43パーセントぐらいが返礼品に係る、業務にかかるお金であるという話で何となくは分かったんですけれども、あと、プラス、納税サイトの使用料、それに関してはどうのようなパーセンテージになるのか、教えていただきたいと思います。</p>

<p>議 長 政 策 推 進 課 長</p>	<p>政策推進課長 ふるさと納税のサイト使用料につきましては、ふるさとチョイスが寄附額の5パーセント、楽天が10パーセント、ふるなびが10パーセントであります。</p>
<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>8番、浜塚議員 44ページです。一番上、研修旅費でございますけれども、64万5,000円の減額補正です。どのような組織でも職員ですか、社員ですか、それぞれ雇われている人の教育研修というのが大変大事なことだと思います。その大事さというのは、もっともっとこれからも重要、必要になってくると思います。この64万5,000円、減額の理由をお願いしたいと思います。</p>
<p>議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>総務財政課長 減額の理由でよろしかったでしょうか。 主には、大分回復してきたとは言え、研修がコロナの関係で中止になったりですとか、あと、オンラインの関係が非常に増えたということの関係で減額となったところでございます。</p>
<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>8番、浜塚議員 オンラインが増えても、コロナの影響は大分大きいということで理解してもよろしいですか。</p>
<p>議 長 総 務 財 政 課 長</p>	<p>総務財政課長 当然コロナの影響で中止になったものもございますけれども、今までオンラインの環境が大分整ってきたというところもございまして、実際オンラインでできるものはもうオンラインになってしまっているものもございまして、オンラインのものもあれば、オンラインと対面が合わさったもの、そういった研修も出てきているところもございまして、実際には旅費は計上していたんですが、完全にオンラインに代わってしまったものもあるということで、このような減額になっ</p>

<p>議 長 議 長</p>	<p>たというところでございます。 ほかに、2款総務費について質疑ありませんか。（発言する声なし） それでは、次に、3款民生費について質疑ありませんか。ページ数は57ページから63ページまでです。</p>
<p>議 長 上 戸 議 員</p>	<p>7番、上戸議員 2点ほどありますけれども、58ページの老人福祉費で報償費、敬老福祉年金が112万円マイナスになった理由と、それと、62ページですけれども、認定こども園の運営費の委託料で園児送迎バスの運行業務委託料が559万5,000円マイナスになった理由、これについてお答え願います。</p>
<p>議 長 住 民 税 務 課 長</p>	<p>住民税務課長 敬老福祉年金の減額につきましてなんですけれども、当初の見込みより56名の人数の減となっております。当初780名予算で見ていたんですけれども、実際には724名の支給となったことによる減額です。 以上です。（その理由は分かるの声あり） 理由は、死亡及び転出、あと入所等により転出してしまったことによる受給権の喪失です。</p>
<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>保健福祉課長 上戸議員質問の委託料の部分でございますけれども、こちらはバスの運行委託料でございます、通常であれば館、鶉方面2台ということで運行してたんですけれども、当年度から鶉方面の対象児童がいなくなったために1台の運行になったことによるものです。 以上です。</p>

<p>議 長 上 戸 議 員</p>	<p>7 番、上戸議員 今、保育園の送迎バスの運行委託料ですけれども、そうすると1路線で550万円減額になったということですね。</p>
<p>議 長 保 健 福 祉 課 長</p>	<p>保健福祉課長 はい、そのとおりでございます。</p>
<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>8 番、浜塚議員 60ページでございますけれども一番上、需用費の光熱水費が結構増額になっていると思うんですけれども、平均どのぐらい、去年と比べてどのぐらいの率で上がっているんでしょうね。</p>
<p>議 長 建 設 水 道 課 長</p>	<p>建設水道課長 まず、電気代ですけれども、おととしの12月の上里の電気代が22万円、去年の12月の上里の電気代が38万円ですので、約16万円、約7割方のアップになっています。特に冬場はボイラーとかの稼働が多いものなので、ちょっとアップ率が多いという形です。それが光熱水費です。今のままだと3月分のこの電気代が4月に払えないので、今回100万円補正を、館と上里温泉の電気代について100万円を補正させていただいたところでございます。 それから、上里温泉と館憩いの家の燃料費につきましては、チップと灯油ですね。チップについては、去年よりトン当たり3万円単価がアップしています。なので、大体30トン、1か月使うので、チップについては、例えば去年令和3年であれば25トンで37万円だったのが、同じく25トンで今年度は約50万円になって12万円ほどの毎月値上げになっていて、予算的に毎月12万円ぐらいのアップになりますので年間で約150万円ぐらいのチップの値上げという形で、その分がまた、先ほど言いましたけれども3月分が支払えなくなるので、今回補正させてい</p>

<p>議 長 浜 塚 議 員</p>	<p>ただいたということです。</p> <p>8番、浜塚議員、今の答弁でお分かりになったでしょうか。</p> <p>いろいろと説明していただきました。</p> <p>先走った話になるかも知りません。そしたら、また6月に30パーセントぐらい上がるということになるとすると、当然2月から比べると倍になるという、そういうようなことで予算を組んでいると思いますけれども、先走るそういう質問ですけれども、その辺もやはり考えていかなければいけないことだと思いますけれども。</p>
<p>議 長 建 設 水 道 課 長</p>	<p>建設水道課長</p> <p>新年度については、今年度よりもそういうふうに今言うとおりに、今のアップ率ですか、それを見込んで令和5年度、新年度の予算編成を組みました。</p>
<p>議 長 議 長</p>	<p>ほかに、3款民生費について質疑ありませんか。（発言する声なし）</p> <p>それでは、4款衛生費について質疑ありませんか。ページ数は64ページから70ページまでです。</p>
<p>議 長 山 崎 議 員</p>	<p>2番、山崎議員</p> <p>69ページの国保病院の特別会計繰出金であります。運営費分が7,362万9,000円、大変大きな金額の補正であります。当初は2億円の一般会計からの持ち出しということでスタートしたわけですが、私も出納検査いつもやらせてもらって、なかなか職員方もいろいろな苦しみをしながら実績が上がらないということいろいろ苦しんでいるようでもありますけれども、そもそも2億円のスタートは今の国保病院の運営ではもともと足りないような気がしているんですけれども。しからば、この7,362万9,000円の運営費分の赤字補填をしなければ</p>

議 長
国保病院事務長

ならない、そもそもの原因は何というふうにして捉えていますか、関係者の方々は。

病院事務長

国保病院の繰出金について例年になく大きな額が補正予算で計上されているということでの質問かと思います。

まず、その原因をお伝えする前に、まず比較がないとちょっと伝わらないと思いますので、御参考までに昨年最終補正ですね、3月に補正したもので2億4,893万2,000円ということで、昨年の最終補正予算より2,469万7,000円の増となっております。

何でこの2,400万円が最終補正で増えてしまったかというのと、簡単に言うと、まず何の経費が増えざるを得なかったかというのと、支出については昨年度とほぼ同様でございます。つまり、収入が減ったということで、その収入の減った部分というのが、大きくは入院収益が減になったというのと、あと、去年コロナのワクチン接種、その接種費用補助金で入っていた3,000万円というのが今年度はほぼ半減したということで、その2つが大きく関連しまして昨年度より補正予算額が増えているということになります。

じゃ、そもそも当初予算2億円で見えていたけれども、2億円じゃ予算足りないんじゃないかという御指摘だと思います。それで、ちょっと出納検査のときも聞かれていましたので、私ちょっと調べさせていただきまして過去10年間を見てみると、じゃ繰出金どのぐらいなんだろうと、過去10年間、全て2億円は超えております。ただし、入院患者が多かった29年度については、最終的な繰出金は2億400万円ということで、基本的に通常ベースの運営に戻ってくれば、まあ2億円では足りないかもしれませんがそれに近い数字というのは目指せるんじゃないかとは思っております。

ただ、現状としましては、当時25人程度いた平均入院数ですね、それが今現在コロナ禍の中においてやはり制約がありますので、今年度については13人程度ということになっておりますので、かなり厳しい状況ではございます。

ただ、では、このまま数が減っていくんじゃないかと言われてますと、少しコロナも落ち着いてきまして、現在4か月連続で前年対比ではプラスということになっていきますので徐々に上向きな状況、また外来につきましては、11か月経過しましたが、そのうちの10か月前年対比増ということになっていきますので、少しずつ平常ベースには戻りつつありますので、来年度当初予算、もう既に予算書お配りしているんですけども、2億1,000万円ということで若干は増えているんですけども、そういうことでは計上させていただいております。

ただ、やはり最初からちょっとこの2億7,000万円を見るというのも、かなり最初から低い事業実績を見込むということで、まずは一旦、来年度であれば2億1,000万円で見させていただいて、状況を見ながら、またちょっと補正を組んでいくという形になるのかとは思いません。

今後なんですけれども、今コロナが5類に変更されるとなると熱発患者等を受け入れられるということにもなってきますけれども、ただ、それもコロナの感染状況によって、うちの病院、ゾーン分けとかが難しいものですから、その状況を見ながら運営状況を工夫しながら対応していきたいとは考えております。

以上です。

2番、山崎議員

残念な言い方しますけれども、国保病院は経営の体をなしてないですね。経営の鉄則というの

議長
山崎議員

は、入りを量り出ざるを制すという言葉なんです。収入どのぐらい入って、それ以内に収めないと経営というのは成り立っていかないですよ、企業でも何でも。ですから、2億円というような当初が、2億円マイナスになるよというようなことであれば、その根拠があったら、以内で収めなかったら経営が破綻してしまっているんです、これは。

だから、私は、やっぱり積算の仕方がどういう根拠で積算しているのか分からないんですね、2億円というのがさ。だから、私は言いましたよね、毎年2億円では収まらないんだと、だから一般会計から持ち出して、それは皆さんの理解があるからいいんだけど、これ財源なかったら病院が赤字経営になってしまう、ずっとそれが累積していくんですよ。

だから、入院患者がかつては20人もいましたとか30人もいましたとか、そういうのじゃなくて、今は13人、14人でしょう。それで合わせるためにはどういう経営をしたらいいか、どうしても合わないのであれば、何で2億5,000万円であろうと7,000万円であろうと、当初計画からそういう計画立てないんですか。私、その辺がおかしいと思うんですよ。もし、どうしても赤字となったら、その年度途中でも経営改革するなり改善するなり、何か手を打たなければならぬわけですよ、一般の経営者であれば。ただ、病院はそれなかなかできないですよ。

私は議員の人方にも言っているように、病院は一般会計からこうやって持ち出ししてもらっているんだけど、その一つの理由としては町民の命と健康を守るために、これ最低のコストなんだと理解してほしいということで皆さんにお願いしているんですよ。だけど、普通の一般病院だったら赤字だよ、倒産しているよ、この病院。だから、私は果たして本当に。

そして、もう一つは、この前懇談会の中で出たのは、十勝かどこかの病院が、こういう国保病

院が一気に黒字に転じた病院が報道されましたよね。それは多分経営改善するいろんな下地があったんだろうと思うんだけど、そういう事例も発表されたりしているのですね。

もし病院がこれからどうするんだということを考えていったときには、どうなんですかね。だから、私は今回の一般質問の中で、行政コストということを行いましたよね。これだけ病院が2億円も3億円も、もしこれ3億円も4億円もかけなければならないといったら、もっていけなくなりますよ。そんなことも考えながら、これからどうしていくかということも考えていきたいと思っております。

本来であれば、本当に簡単に7,000万円が赤字になりましたので補填してくださいよと、そういうことにはなるんですかね。だから、それは確かに入院患者が少なくなったというのも分かります。そしたら、少ないは少ないわりにそういう経営すればいいわけでしょう。私はそういうので、そういうものが見えてないですね、残念だけれども。どうですか。

病院事務長

今ちょっと経営のお話ということでいただいたかと思うんですけども、まず、当初予算で本当にフルでどれだけお客さんが減っても全て賄える経費で繰出金を見るのか、それとも現在当初2億円で見ているんですけども、実際28年度、29年度あたりは2億円ベースで推移していったということでそこで見ると、先に予算を見るのか、後から足りなくなったら補正するかというお話で、山崎議員はやはりきちんと最初に予算を見ておいたほうがいいんじゃないかというお話だと思います。そこにつきましては、方針とかもありますけれども、次年度以降ちょっと検討させていただいて、本当にうちの今病院が得られる収入というのを把握させていただきながら、ちょっと検討させていただきたいと思っております。

議 長
国保病院事務長

また、経営ということで考えたときに、山崎議員からちょっとお話あった十勝のほうの病院、芽室町の病院だと思います、道新に載っておりました。そこの経営改善がうまくいって黒字になったというお話なんですけれども、やはり近隣の人口だとか、いろいろ要素が違いますので、うちの病院に当てはまるかというのはちょっと断言できないんですけれども、そういったいろいろな事例を参考にしながら考えることも必要かと思います。

ただ、今すぐ答えが出せないという事情もございまして、やはり来年度、国のほうからもつくるようにほぼ強制なんですけれども病院経営強化プラン、こちらをつくっていかないと交付税の補填がなくなる。また、南檜山の医療構想、ここでの病床数の調整だとか医療分担の役割、この辺を整理しない限り、やはりうちの病院だけで例えば何かを切るとかということになると単に医療過疎というものが生まれてしまいますので、そこはやっぱり絶対避けたいというのは、山崎議員と同じ意見かなとは思っておりますので。

ただ、実はちょっと数字を見てみると、24年度に2億5,000万円だったマイナスが、何と29年度に2億400万円まで5,000万円圧縮しているという職員の努力とかも実際あります。ただ、コロナ禍の中でそこはなくなってしまったということで、やはりうちのスタッフたちも努力すればできることというのはあると思いますので、そういった話合いの場を持ちながら経営強化プランをつくっていきたいと考えております。

以上です。

2番、山崎議員

町長に、ちょっと重複しますけれども、町長、どうですか、現在の厚沢部町の国保病院の運営状況を見ながら。今これで約7,300万円、実際に2億円を拠出するわけですから2億7,0

議長
山崎議員

議
町

長
長

00万円赤字ということになるんですよ。このままでいくと、また3億円になるかもしれませんよ。こういう状況下の中の町長、病院経営をどうトップとして考えていますか、そこをお願いします。

町長

国保病院の経営につきましては、例年大変な一般財源の持ち出しという中で今までどういう改善方法があるのかいろいろと議論をしながら、そして現場はどういう対応して経費減を図るのかというような、経費を何とか低いものにしたいというふうなことをいろいろと検討はしていることだと思っていますけれども。

ただ、今議案の中ではこの出資金のほうは、これは病院の設備の関係ですから、これは出資金の中でもこの分は差し引いて、そして町の病院のいろいろな修繕だとか、今回見るとスプリンクラーだとか、こういうものはこの出資金のほうの4条予算のほうに入っているものであります。ですから、その年によっては非常にこの4条予算が膨らむというふうなこともあり得るわけでありまして。

それで、その3条予算のほうの町からの運営費分、問題はそこへいくわけでありましてけれども、これは少なくとも病院のドクターあるいは職員、こういう者の努力も当然必要になりますし、今までもうかなりいいラインまでいった、ドクターの人気もあって、そういう時期もあったと。しかし、今はどうなのか、ドクターの人気も取れないのかどうか、患者がさっぱり増えないというふうな、こういうふうな情勢の中でありまして。

しかし、これは今確かにそういう状況にありますけれども、今、檜山南部のほうではメディカルネットワークを組んで今いろいろと他町村との連携を取っておりますけれども、恐らく2、3

年のうちにこのネットの中で恐らく欠けてくる病院が出てくるんでなかろうかと、こういうふうな想定ができます。ということは、ドクターがいなくなるというふうな。そういうふうなところは、入院患者も置けないし、当然診療所でやれるかという大変な経営者の努力が必要になると、こういうことになるわけで、それが先には見え見えになります。

そういうふうな状態の中で国も厚労省のほうでは、北海道のこういう病院については入院ベッドの削減という大きな表題を上げてきておりますから、やがて厚沢部町の国保病院も、周りの乙部町、奥尻町、こういうものもベッドを半減せというふうな指示が当然参ると思います。そのときにベッド数によっては診療所というものに落としかねない、そういう状況にもなるというふうな心配はしております。

ですから、我が町におきましては、今あるベッドについては最大限確保しながら、そしてそういう厚労省からの締めつけがきた段階には、それに当てはめるようなベッドもきちっと持っておかなければ、やがて職員も置けなくなる、医者も置けなくなるというふうなことが心配されますので、今当面の間、この病院の経営は、確かにこういうふうに厚沢部町の一般財源というものは4億円ですから、町民税、固定資産税、軽自動車税含めて4億円です、自由になる金、この4億円のうち国保病院に3億円取られたら、あとの子供たち、年寄り、こういう者には1億円の金より自由になる金はないんだと、こういうふうな状況を考えるときに、職員はもろとも医者もそういうふうな大変厳しい状況にあるということを理解しながら、どう病院の経営があるべきかを十分病院の中での検討というものが必要になりますし。ただ、今この働き方改革という法律のおかげで大変窮屈になってきたと、こういうふうなこともあります。

いずれにしても、厚沢部町の国保病院を維持するとすれば、当分我慢をしながら病院の職員た

<p>議 長 中山 議員</p>	<p>ちに努力してもらおうと、こういうふうなことで事務長も心得ておりますので、そういう方向にぜひ進めながら病院の維持管理をきちっとしていくと、こういうふうな考え方を職員全部が持つように、こういうふうな思いでおります。</p> <p>私も事務長、国保運営委員会だとかいろいろな場所で院長とも一緒になりますので、そういう中でいろんな改革、改善をしてほしいというふうな要請をしたいというふうには思っております。</p> <p>1 番、中山議員</p> <p>今、町長のほうから山崎議員に対して答弁ありましたけれども、私もずっと国保については、これは町民の医療のためということで認めてまいりました。そういう中で、どうなんですか、町長、やめるようになってからこんな話を聞くとちょっとおかしいかもしれないけれども、この繰出金、最大限どこまで当町として許せるものなのか、この辺について、町長が今までの経験の中でこの辺までは大丈夫だろうと、これは私は町長の置き土産でも結構ですので、その辺の考え方をお聞きしたいのと、こういうふうに思います。</p>
<p>議 長 町 長</p>	<p>町長</p> <p>辞める者の話を聞くんですかと、こういうふうなことになるかと思えますけれども。</p> <p>確かに、やはり厚沢部町の行政運営の中では一番の危機を持つのがここであるというふうに、以前から心配事の種だというふうには覚えております。なおさら、今医療体制の整備に入ってきますと、道立病院そのものは救急病院でありますから入りたくても簡単に入っていけない、必ずワンクッション、厚沢部町なり乙部町をワンクッション置いて道立に救急体制で入ると、こういうふうな病院に今すぐなります。道立はもう救急ですから、直接は受けません。したがって、厚沢部町を経由するなり、乙部町を経由するなり。</p>

今、乙部町は御承知のように院長先生1人しか病院にはおりません。したがって、恐らくは4月までに見つからない場合には入院患者は置けなくなるというふうな、恐らく道のほうからの指摘が入ると思います。そういうふうになりますと、乙部町の患者もこっちへ来るだろうし。そういう地域の中で連携した中で厚沢部町の立ち位置というものをつくりながら、乙部町の患者も上ノ国町の患者もうちのほうが一括受け入れますよと、こういうふうになると、外来よりも入院が入ったほうがうんと医療得点になるわけですから、そういうふうな経営の方向をきちっと定めて、そして、この南檜山の中で一旦全て厚沢部町の病院へ入れると、こういうふうな方向で院内会議の中で進めると空き病棟がなくなるというふうなことが見えてくるだろうと、こういうふうに思います。

ただ、それには職員の意識が必要であります。医者意識も必要です。患者来ると忙しいから入院させないとか、外来見たくないなんて、夜になったら駄目よなんて、そんなことやっていたら患者はついてきません。したがって、そういう経営上、自ら患者を受け入れる、そして隣近所のまちからも受け入れるというふうな、そういう運営の進めをしなければ、厚沢部町のこの3億円はなかなかマイナスにならないと、こういうふうに思っています。

いずれにしても、病院は貴重な地域の基幹病院ですから、なくするわけにはいきませんが、医者を確保している中できちっと近隣町が目玉病院になるくらいの考え方で進んでいかなければ、容易にこの今の繰出金は減らないというふうに思っております。

何でお前いるときにさっさとやらなかったんだと言われれば、これはまた大変な話なんですけれども、私らの頃はとにかくドクターを確保するという、全道内でも今大変な医者不足の中にありますけれども、厚沢部町はドクターは確保しますと、こういう中で進めてきて、やはりそれが

<p>議長 中山議員</p>	<p>経営にも大きな影響が来ていることは確かであります。</p> <p>そういうことも含めてこれからの病院経営というのは、患者優先でぼんぼんぼん厚沢部町国保病院に受け入れると、こういう方向の感覚が職員の中に芽生えれば、かなりいい方向に進むだろうと、こういうふうに思います。辞める者の話であります。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>今、町長、職員方、医師が一生懸命やれば、まだまだ可能性があるというようなことで説明受けましたけれども、実際、事務長、お聞きしたいんですけれども、レントゲン、当町にあるレントゲンの管理とか、それから精度、これ一つ見ても、私個人のプライバシーの話をするんですけれども、うちの妻が去年圧迫骨折をやりました。ここで診てもらったんですけれども、先生のほうが、このレントゲン悪くて見えない、分からないと、ほかへ行ってくれということで違う病院に行って、そっちのほうで今治療しています。もう先生が、このレントゲンじゃ分からないんだと、それで、ほかに行ってみてくださいというようなことでほかへ行ったんですけれども、それでは医療の改革にはならないと思うんですよ。</p> <p>もう一つ聞きたいのは、レントゲンの上というのはCTなんですか、その上がMRIですね。これ、当町の場合は、当町に設置してあるんですか。</p>
<p>議長 国保病院事務長</p>	<p>病院事務長</p> <p>まず、レントゲンのお話なんですけれども、ちょっとレントゲンが見えないというのは今ちょっと初めて聞いた話なので、実際そういうことがあるのかというのは、ちょっと正直把握はできておりません。こちらについては確認させていただきます。</p> <p>その上、CT、要するに輪切りにして画像を映すようなものなんですけれども、そちらについ</p>

<p>議長 中山議員</p>	<p>ては、やはり今まで解像度が悪かったんですよね。2列というものを今まで使っていて、今16列と、要は8倍に性能がなったということで、画素の数だとかその細かさというのかなり最新のものになりましたので、かなり精度がよくなっておりますので、逆に精度よくなり過ぎて、ちょっと放射線科医の所見も必要になるという場合は、外部委託するような体制にはしていますので、そこら辺の精度は向上していると思います。</p> <p>あと、MRIにつきましては、うちの病院にはございませんが。</p> <p>多分、レントゲンは、特段健診でも使っていると思いますので、そんな問題はないかと思えますし、CTも他病院に負けないような性能の物が今入っていますので、そこら辺の精度というのは向上しているかと思えます。</p> <p>以上です。</p> <p>1番、中山議員</p> <p>事務長、実際に私の身内でそういう、うちの妻とそれから孫がこの前つい先日です、レントゲン撮ったけれども全然分からないと、ほかへ行ってくださいということと、娘はいろいろと院長にいろいろ診てもらったんですけれども、院長でも分からないというようなことで違う病院に行ってくださいということではほかへ行きました。そこで、行かなければもう大変、大病になるぐらいの病気だったんですよ。</p> <p>やはり私はこれは駄目だなと思ったのは、レントゲンが一つ見れないような病院であれば、これ本当に大変なことですよ、実際に。だから、管理をどうするのか、それから精査するのをどうするのか、その辺についてきちっとやっぱりこれからやってください。そうでないと、患者来なくなりますよ。さっき町長の説明あったように、やっぱり信用問題なんですよ、これ、患者と先</p>
--------------------	---

<p>議 長 国保病院事務長</p>	<p>生との。先生が見れないというぐらい悪いレントゲンであれば、置かないほうがいいですよ。これは、事務長、きちっとやっぱりレントゲンは精査してください。私もほかの病院に行って膝のほうを撮影してもらったら、非常にきれいに映っていました。手術しなさいと言われてましたけれども、そのくらい差があるんですよ。自分が見ても分かるくらい差があるんですよ、レントゲンに。その辺、ちょっとやっぱりきちっとこれからこの後やっぱり精査すべきですよ。</p> <p>病院事務長</p>
<p>議 長 国保病院事務長</p>	<p>もちろん中山議員から今ちょっと御質問いただいた内容、プライバシーの関係もあるので確認するのも事務方としては限界あるんですけども、まずそういうお話があったというのを院内でちょっと確認しまして、果たしてレントゲンの性能の問題なのか、それともお医者さんも専門性というものがありますので、自分で診断するんでなくて御紹介してさらに細かい検査をしてもらうということで、うちの病院に必要な性能のレントゲンなのかというところもあると思いますので、再度確認させていただきます。</p> <p>以上です。</p>
<p>議 長</p>	<p>ほかに、4款衛生費について質疑ありませんか。ページ数は64ページから70ページまでです。（発言する声なし）</p>
<p>議 長</p>	<p>それでは、次に、5款労働費について質疑ありませんか。ページ数は71ページです。（発言する声なし）</p>
<p>議 長</p>	<p>それでは、次に、6款農林水産業費について質疑ありませんか。ページ数は72ページから77ページまでです。</p>
<p>議 長</p>	<p>2番、山崎議員</p>

山 崎 議 員

73ページの負担金補助及び交付金という項目の中に肥料価格高騰対策事業費補助金3,340万7,000円、これが補正をされています。ありがたいことですね。今国のほうは肥料の値上がり分の7割を補填するというようなことで、ようやく動き出して、申請が見えてくるようなことになりました。そして、本町は国の分以外の部分の補填ということで、大変ありがたいことだろうと思っています。

今、農家の経営状態は大変厳しくなっています。昨日、おととい、テレビ放映されましたけれども、今酪農家が健全な酪農家ほど撤退をしていくという状況下であります。一生懸命頑張って頑張って牛乳を作っても、量が多いから捨てなさいと、投げるといふ。それから、えさ代が高くなって、新たな子牛を飼育しても、その子牛の価格にえさ代が出てこない。それと、ぬれ子と言って子牛の今価格が1頭1,000円でも買い手がいないという、そういう物すごい環境の中で今酪農やられているんですね。そして、県の酪農家も北海道の酪農家も大きな酪農家であっても、もう撤退を余儀なくされているという状況下であります。それが今すぐ厚沢部町、我が身になると私は思っているんですよ。今、2,000円の肥料が4,000円にもなるんですから。我々は何としても使って、やっぱり営農しなければならないわけでしょう。そういうことで、この3,340万7,000円というのは、大変ありがたい施策だと思っています。

これだけにとらわれないで、もっともっと大幅に私は町長にお願いしたいというふうに思う。ぜひ農家の窮状を一時期でもいいから救ってほしいんだというふうに思っています。ですから、この3,340万円は大変ありがたい施策を出してもらったと思って、私は評価をしたいと思えます。

議

長

質疑はありますか。

山 崎 議 員
議 長
町 長

町長、もし何かあったら、せっかくだから。

町長

せっかく質問もらいましたから。

肥料価格高騰対策事業、これ国の制度を受けながら、そして道の上置きを受けながら、残りの農家負担を町がこのように半分負担します、こういうふうな思い切った政策をつくったわけですが、これは今国のほうの動きがまだ若干動いているような状態であります。したがって、今補正予算でこういうお金を出していますけれども、まだ動く可能性はあるという中、ただ、いずれにしても厚沢部町は今4月に間もなくなりますと農業が始まるわけであります。そういう中でのこの肥料対策というような、基盤の畑の中で第一歩に動く作業でありますから、こういうものに農家の方々が不便をきたさないように、国・道、そして町のやつも早い機会にこういうふうに農協さん等に交付しながら、そして農家の皆さん方が安心して営農できるような、そういうスタイルにしたい、こういうふうに思っています。

いずれにしても、今のところ、これ歳入のほうでの財源が野菜対策の金を使ったり何だりというふうなことをして今間に合わせておりますけれども、いずれにしたって、この夏秋にかけてどういう農業情勢になるかによっては、まだまだ基幹的な整備を支援をすると、こういうことになるかと思えます。

いずれにしても、国の動きを見ながら、そして道のほうはちょっと当てになりませんが、そういう中での農業支援というのは我が町は必要であると、こういうふうに考えておりますので、いずれにしても次の町長には、どんと補助を出せというふうに引継ぎをしたいと思えます。そういうことで御理解をいただきたい。

<p>議 長 中山 議員</p>	<p>1 番、中山議員</p> <p>今、山崎議員質問した上のほうでございます。担い手確保・経営強化支援事業費補助金ということで、説明書のほうですけれども、これは、課長、農家が農林課に来て申し込んだものなのか、それとも町のほうでこういう事業ありますから申込みしてくださいということで、昨年もたしか1経営体がこの費用で農機を購入したということでございます。今年も同じような補助事業で入ってきているんですけれども、これは農協または町が推薦してやっているものなのか。何か大変ポイントが高いという、そのポイントというのがちょっと我々は理解できないんですけれども、その辺併せて説明していただきたいと思います。</p>
<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>農林課長</p> <p>御質問の担い手確保・経営強化支援事業について御説明いたします。</p> <p>この事業、昨年度も補正予算対応させていただいたところであります。まず、周知の御質問であります。これにつきましては、農協さんのほうから情報提供されているものかと思っております。また、町のほうでは積極的な周知といいますか、これ補正事業でありまして大変期間の短い事業でもありました。ですので、事前に町に、今回補正予算計上させていただいた方は、事前に町にこういう事業が新聞等で報道されておりましたので、こういう事業があるんですけどもということで御相談に来られた経緯にあります。ですので、なかなか全ての農家さんにこの情報が行き渡っているのかといいますと、その部分はちょっと農協さんのほうの指導にお任せしている部分ではあります。</p> <p>ただ、全ての農家さんがこの事業に乗れるかといいますと、なかなか乗れない事業ということです。理由としましてはそのポイントにも絡むんですけれども、農地中間管理事業を使って4へ</p>

<p>議 長 中山 議員</p>	<p>クター以上の規模拡大を図るですとか、また、要件の中には、資料のほうにも入れていたと思うんですけれども、成果目標というものを定める必要があるということでございます。付加価値額の拡大、これに必須で取り組む農家さんというところで、一定程度現状の規模のままでは当たらない事業ということでございます。</p> <p>なおかつ、選択目標としてもう一ついろんなメニューがあるんですけれども、その中から面積拡大ですとか、経営の法人化ですとか、付加価値額の増大に加えて輸出ですとかスマート農業の取組、こういった今国のほうで主導しているような事業の取組をされている方にこの事業は正直言いまして限定されているという状況でございます。</p> <p>ですので、そういう情報を、今回この事業に乗られる方は比較的若い農業者さんでありまして、情報も仕入れていたようであります。事前に現状の経営から麦とか豆とか国のほうで戦略的に作付を推奨している作物を組み入れた中で、その成果目標が取れるというような方でありましたので、今回申請させていただいたところであります。</p> <p>以上であります。</p> <p>1 番、中山議員</p> <p>大変いい補助事業ですので、ぜひほかの農家の若い後継者のいるところには、ぜひ対象にしてやっていただきたいなというふうに思います。</p> <p>昨日、実は課長も同じ会議に出ていたんですけれども、厚沢部町の水田を担う再生協議会がありました。そういう中で、大変若い方というよりも、そこにいる委員の方々も中堅で、もう大変これから中心になってやっていく方々なんですけれども、実は課長が言っていた地域計画、地域水田、これの部分とそれとこの農地の集約をどうするかというのは非常に大きい問題なんです</p>
----------------------	---

<p>議 長 農 林 課 長</p>	<p>よ。ですから、例えば鶉の例を出しますと、私と山崎さんはもう年ですので、もう数に入りません。これから鶉を背負って立つ若い人が農地をやってくれるかといったら、2人かそれぐらいしかいません。そういう中で、果たしてこれから各地区の農地を守っていけるかといったら、どうですか、町長、置き土産に。これ町内回ってみたら、まず種芋農家がどんどんやめていっています。あと、今のこの転作の中では、辞めてもまだ80歳、90歳まで稼がないと食っていけないような、農家を辞められないような状況になる可能性もあります。この辺の指導というのは、これからやっぱり町できちっとしていかないと厚沢部町の農地をきちっと守っていけないと思うので、その辺についての課長、町長の考え方をお聞きしたいと思います。</p> <p>農林課長</p> <p>これから地域を背負って立つ担い手に対する農地の集積をどうしていくかという御質問かと思っております。</p> <p>これにつきましては、先ほど議員からおっしゃいました鶉地区、これ以外にも高齢化が進んでいる地区は多数ございます。その中で、いかに農地を集積し担い手の人に使っていただくかという方策が必要かと思っております。これについては、先ほど人・農地プランのお話もちらっと出ました。そのお話し合いの中で農地を集積するのと併せて、農地を集積するとともに規模拡大に伴う施設整備ですとか機械導入、こういったものが必須となってまいります。これについては、農地だけでなく経営の強化というところの施設整備だとかと併せて国の事業含めまして組み合わせ、ちょっと言葉悪いですけども担い手への農地の集積を誘導していくことになろうかと思っております。あとは、農地の出し手の方、これについての今支援がちょっとない状況でありまして、国のほうの支援も過去にはあったんですけども、現状は今ない状況であります。なの</p>
------------------------	---

		<p>で、農地の流動化を進める上で、何かその地主さんのほうへの支援というの必要かとは思っていますが、これについてもさっきの担い手の集積と併せて検討していくことが必要と思っていますので、検討してまいりたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
議	長	<p>それでは、議事の途中ではありますが、15時50分まで休憩します。(15:34)</p>
議	長	<p>休憩前に引き続き議事を続行いたします。(15:50)</p>
議	長	<p>なお、ただいま鈴木教育長より欠席の届出が提出されましたことを御報告いたします。</p>
議	長	<p>それでは、6款農林水産業費について質疑ありませんか。ページ数は72ページから77ページまでです。(発言する声なし)</p>
議	長	<p>それでは、次に、7款商工費について質疑ありませんか。ページ数は78ページから80ページまでです。</p>
議	長	<p>9番、高田議員</p>
高田議員		<p>79ページの厚沢部町観光協会運営費補助金の150万円の減額ですけれども、これの内容の御説明をお願いします。</p>
議	長	<p>政策推進課長</p>
政策推進課長		<p>こちらのほうは、ばん馬大会、うずら温泉まつり、館城跡まつりのイベント中止によりまして減額になっております。</p> <p>以上です。</p>
議	長	<p>ほかに、7款商工費について質疑ありませんか。</p>
議	長	<p>7番、上戸議員</p>

上戸議員	80ページですけれども、一番下の重点道の駅の整備事業費の歴史文化情報発信施設映像制作委託料の51万9,000円のマイナス、減額になった理由について、内容について御説明をお願いします。
議長 政策推進課長	政策推進課長 当初予算で7,150万円でありましたが、一般競争入札によりまして減額となっております。
議長 上戸議員	7番、上戸議員 以上です。 今、入札残と言いましたけれども、あの映像の関係については100パーセントの入札だというように記憶していますけれども、記憶違いかどうか、その辺ももう一回説明をお願いしたいと思います。
議長 政策推進課長	政策推進課長 先ほど説明しましたのは、あくまでも予算額でありまして、予定価格に対しての100パーセントということになります。
議長 議長	ほかに、7款商工費について質疑ありませんか。（ありませんの声あり） それでは、8款土木費について質疑ありませんか。ページ数は81ページから83ページまでです。
議長 佐々木議員	10番、佐々木議員 81ページの除雪費です。今回ここに出ている部分ではないですけれども、業者委託ということで路線除雪していますよね。それで、当然燃料費も高騰しているというようなことで、途中で

議 長
建設水道課長

単価的な部分の見直しというか、そういうようなことは図られたのかどうなのか、その点についてお聞きします。

建設水道課長

単価につきましては、燃料費だとかについては積算していますので、今回の高騰というか、ガソリン代については、前から軽油とか130円、140円でしたので、それで積算していますので、特に今回の単価、委託してからの単価の見直しについては、設計変更といいますか単価見直しというのはありませんでした。当初で見込んでいた燃料費で問題なく、時間当たりの単価ですね、問題なかったの見直しはありません。

今回の除雪費についてのこの2,000万円補正しているのは、この補正予算の締切り、作成の締切りが1月30日なんです。ですから、今からもう1か月と10日ぐらい前がこの補正予算を出す締切りだったものなので、その時点では1月と同様に2月も降られるとこのぐらい不足になるということで、そのとき補正を財政部局のほうに出したんですけれども、2月が思いのほか降らなくて暖かくて、また3月、この状態も非常に暖かい状態で、逆に春明けも非常に楽な状態で来週月曜日からやっていくんですけれども、一部はうちの直営はもう二、三日前から鶉だとかその辺の春明けやっていっています。ですので、今回大変本当に申し訳ないんですけれども、この2,000万円ほぼ使うことなく、これについては使うことなく決算では不用額になると思います。

それと、なおかつ前回補正させていただきました5,000万円につきましても、2月に使わなかったものなので今のところ約500万円から1,000万円ぐらい余りそうで、ちょっと決算で不用額になるんですけれども、その辺大変申し訳なく思います。

議	長	以上です。
議	長	ほかに、8款土木費について質疑ありませんか。（発言する声なし）
議	長	それでは、9款消防費について質疑ありませんか。ページ数は84ページです。（発言する声なし）
議	長	それでは、次に、10款教育費について質疑ありませんか。85ページから100ページまでです。
議	長	1番、中山議員
中山議員	員	85ページになるんですけれども、ここに事務局費の中で学校運営協議会委員月額報酬9万5,000円というような大きな減額をされております。この内容を説明していただきたいと思います。
議	長	教育委員会事務局長
教育委員会事務局長		学校運営協議会委員の月額報酬なんですけれども、当初予算で見ていた委員見込み人数を当初40名で予算計上していたんですが、最終的に各4校の学校と協議した結果、トータル30名ぐらいで委員が確定してしましまして、正直ちょっと当初の予算が過大と言ってもいいぐらいの数字だったんですけれども、その内容の分と、当初全体会議を3回予定したんですけれども、現状2回、1回分をちょっとやれなかったとかやっていないという部分もありますので、それらの要因を踏まえてちょっと大きな額になったんですけれども、会議としては予定された各地区での各4校での会議の3回は全て行っておりますので、基本的には最初に言いましたとおり、当初の予算の計上がちょっと40人、各校10人ずつ程度委員を選ぶという想定をして予算計上していたんですが、実際は大体7人から8人程度の委員で構成ができたということが一番のマイナス

		<p>になった要因と思います。</p> <p>以上です。</p>
議	長	ほかに、教育費について質疑ありませんか。（発言する声なし）
議	長	それでは、次に、11款災害復旧費について質疑ありませんか。ページ数は101ページ及び102ページです。（ありませんの声あり）
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第8号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第8号令和4年度厚沢部町一般会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第7 議案第9号令和4年度厚沢部町国民健康保険事業特別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	住民税務課長
住 民 税 務 課	長	議案第9号の令和4年度厚沢部町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の内容について説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	歳入歳出全般について質疑ありませんか。ページ数は5ページから15ページまでです。（発

		言する声なし)
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。(ありませんの声あり)
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第9号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。(異議なしの声あり)
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第9号令和4年度厚沢部町国民健康保険事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第8 議案第10号令和4年度厚沢部町後期高齢者医療特別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	住民税務課長
住民税務課長	長	議案第10号の令和4年度厚沢部町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の内容について説明いたします。(議案内容説明記載省略)
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	歳入歳出全般について質疑ありませんか。ページ数は5ページから10ページまでです。(ありませんの声あり)
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。(ありませんの声あり)
議	長	討論を終結します。

議	長	議案第10号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第10号令和4年度厚沢部町後期高齢者医療特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第9 議案第11号令和4年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	保健福祉課長
保健福祉課長	長	議案第11号の令和4年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）の内容について説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	歳入歳出全般について質疑ありませんか。ページ数は6ページから22ページまでです。（発言する声なし）
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第11号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第11号令和4年度厚沢部町介護保険事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第10 議案第12号令和4年度厚沢部町簡易水道事業特別会計補正予算、議題としま

議	長	す。
議	長	議案の説明を求めます。
建設水道課長	建設水道課長	建設水道課長
議	長	議案第12号の令和4年度厚沢部町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）の内容について御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	歳入歳出全般について質疑ありませんか。ページ数は6ページから17ページまでです。
佐々木議員	長	10番、佐々木議員
		16ページです。8,532万5,000円減額となっていますけれども、これは工事予定の部分をやらなかったのか、それとも国庫補助金が対象にならなくて取りやめたのか、どういう経緯でこういうふうな大きい金額になった経緯について説明お願いいたします。
議	長	建設水道課長
建設水道課長	建設水道課長	今、佐々木議員の言われたとおり、歳出が、全部歳入にも絡んでくるんですけれども、まず、今回この8,532万5,000円の負担金ですね、これが大きく減額になったのは、まず営農用水、道営の事業ですね、道営の営農用水の予算がうちは9,600万円ということで予算を考えていて要望していたんですけれども、実際には約8,000万円ぐらいしか予算がつかなかったんです、令和4年度。ですので、1,600万円ぐらい予算がつかないと。それで、営農用水のほうがかないと、それに付随して簡易水道の分ですね、全体の中で営農用水の分と簡易水道の分があって、簡易水道の分は比率が高いので、うちの負担の、それで約7,000万円ぐらいそっちのほうがか簡易水道分の事業として減額になっているわけ。営農用水と簡水の分を足し算す

<p>議 長 佐々木議員 議 長 建設水道課長</p>	<p>ると、約今回の8, 500万円ぐらい負担金が減ると。単純に、営農用水の道営の予算が令和4年度はつかなかったと、なので事業費が全体。歳出に付随して歳入のほうの当然国庫補助金だとか営農用水のほうの歳入のほうだとかが全部減額して、このようなちょっと大きな歳入歳出の大きな金額の補正になっているところです。</p> <p>新年度は大体つくような、向こうから言われている予算の要望を出しているところであります。</p> <p>以上です。</p> <p>10番、佐々木議員</p> <p>ということは、事業計画については遅れるけれども、年度遅れた中で進んでいくということで間違いないということでしょうか。</p> <p>建設水道課長</p> <p>この資財高騰だとか物が入ってこないだとかというこの状況と、それから計画段階、平成29年の計画段階と今の現状と、やっぱり実施設計をやってみると金額が大分違うと、現状と合っていないところ、現状といいますか大きく違うところがあるということで精査していきまして、今、設計が令和4年度実施設計が全部終わって、それで今年度大体金額は今後どのぐらいということで、それで事業のほうも一応今3年ぐらいちょっと延びる、こうやって予算がつかないこともあって、そういう事業も延びていくと、全体事業費も今結構増えるような状況であります。それにつきましては、新年度もう一度、佐々木議員も評価委員で平成29年のときに入られたと思うんですけれども、再度その事業の見直しといいますかその評価をしていただいて、国の補助とかの変更、事業全体の変更申請を出す予定です。</p>
--	---

		<p>ざっくりばらんに言いますと、今、令和5年で終わる予定が令和8年まで3年間事業が延びると。それから、総事業費のほうも今20億円で見ていたのが、大体28億円から29億円ぐらいまで増えると。ただ、負担金だとか補助金とかもありますので、それだけ増えた分だけ町の持ち出しが増えるというわけではありませんので、その辺については、また新年度のほうで精査した金額が出たら御説明するようになると思います。</p> <p>以上です。</p>
議	長	ほかに質疑ありませんか。（発言する声なし）
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第12号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第12号令和4年度厚沢部町簡易水道事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第11 議案第13号令和4年度厚沢部町農業集落排水事業特別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	建設水道課長
建設水道課長	長	議案第13号の令和4年度厚沢部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）の内容について御説明いたします。（議案内容説明記載省略）

議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	歳入歳出全般について質疑ありませんか。ページ数は４ページから７ページまでです。（発言する声なし）
議	長	それでは、質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第１３号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第１３号令和４年度厚沢部町農業集落排水事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第１２ 議案第１４号令和４年度厚沢部町国民健康保険病院事業特別会計補正予算、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	病院事務長
国保病院事務長		議案第１４号の令和４年度厚沢部町国民健康保険病院事業特別会計補正予算（第１号）の内容について御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議	長	収入、支出全般について質疑ありませんか。ページ数は１７ページから２０ページまでです。（発言する声なし）
議	長	それでは、質疑を終結します。

議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第14号、原案どおり決したいと思います。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第14号令和4年度厚沢部町国民健康保険病院事業特別会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第13 議案第15号厚沢部町個人情報保護法施行条例の制定について議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。
議	長	総務財政課長
議	長	議案第15号の厚沢部町個人情報保護法施行条例の制定について御説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議	長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（発言する声なし）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第15号、原案どおり決したいと思います。（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって、議案第15号厚沢部町個人情報保護法施行条例の制定について、原案どおり可決されました。
議	長	議事の途中ではありますが、本日はこれをもって散会といたします。

議 議	長 長	明日は午前10時から開会いたします。 皆様、御苦労さまでした。(16:41)
--------	--------	---